

仕 様 書

1 件名

令和3年度新規採用職員用消防吏員用被服類の購入

2 納入・履行期限

納入の準備が整った物品から順次納入するものとし、全ての物品を令和3年3月12日（金）までに納入すること。

3 納入・履行場所

埼玉県草加市神明二丁目2番2号

草加八潮消防組合 草加八潮消防局 3階 総務課

4 支払方法

業務完了払

5 発注数量

(1) 冬帽（男性用）	9 個
(2) 夏帽（男性用）	9 個
(3) ワイシャツ	1 8 着
(4) 制服（冬）上衣（男性用）	9 着
(5) 制服（冬）下衣（男性用）	9 着
(6) 制服（夏）上衣長袖（男性用）	1 8 着
(7) 制服（夏）上衣半袖（男性用）	9 着
(8) 制服（夏）下衣（男性用）	1 8 着
(9) ネクタイ（男性用）	9 本
(10) スライドバックル式バンド（制服（夏）・活動服用）	9 本
(11) スライドバックル式バンド（制服（冬）用）	9 本
(12) ダブルピンバックル式バンド（活動服用）	9 本
(13) 外とう（防寒衣）	9 着
(14) 雨衣	9 式
(15) ティーシャツ（半袖）	1 8 着
(16) 作業帽（夏）	9 個
(17) 作業帽（冬）	9 個
(18) 活動服（夏）上衣（男性用）	1 8 着
(19) 活動服（夏）下衣（男性用）	1 8 着
(20) 活動服（冬）上衣（男性用）	1 8 着
(21) 活動服（冬）下衣（男性用）	1 8 着

6 概要規格等
別添のとおり

7 個人情報について

草加八潮消防組合個人情報保護条例（平成28年条例第10号）及び別記個人情報取扱特記事項を遵守すること。

8 通報義務等

不当要求等に関し、次の事項を遵守すること。

- (1) 受注者及び受注者の下請業者が、不当要求行為を受けた場合又は不当要求行為による被害を受けた場合若しくは被害が発生するおそれがある場合は、組合管理者に報告するとともに、所轄の警察署に通報すること。
- (2) 受注者は、組合及び所轄の警察署と協力し、不当要求行為の排除対策を講じること。

9 その他

(1) 同等品等の証明

同色・同品質又は同等品以上のものを見積もる場合は、担当者にサンプル商品等を提出し、承認を得ること。

(2) 発注サイズの決定

ア 採寸は、契約業者がサイズ見本を持参し、実施すること。

イ 採寸の日時及び場所にあつては、担当者の指示に従うこと。

ウ ズボン丈、袖丈の延長等、見本以外のサイズにも対応すること。

エ ズボンの股下丈は、受注者が調整すること。

オ 既製サイズ以外のサイズにも柔軟に対応すること。

(3) 本仕様書に疑義がある場合は、担当者と協議すること。

(4) 業務上知り得た事項を漏らしてはならない。

10 問合わせ先

草加八潮消防局 総務課 酒井

電話 048（924）2112（直通）

冬帽（男性用）
仕 様 書

草加八潮消防局

仕 様

1 概要

この冬帽（男性用）の形状は、別添概要図のとおりとする。

2 型式

円形、前ひさし及びあごひも付きとする。

3 材料

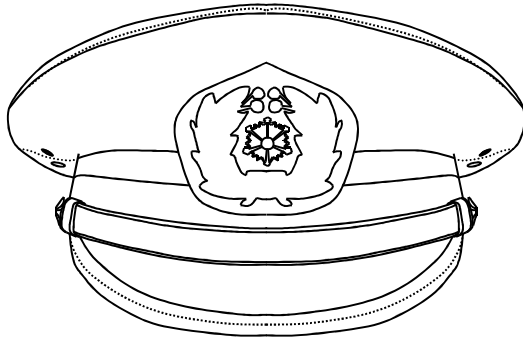
区 分	仕 様	用 途
主材料	ニッケ（S 8 9 0 2 C）C / # E 紺 カシミアドスキン 帯電防止（CL）加工 強撥水・防汚れ （スーパーセルボニック加工） 毛 7 0 % ポリエステル 3 0 % （同色・同品質以上のもの）	帽 部
副材料	黒色合成樹脂	前ひさし あごひも
釦	金属製消防章マーク入り 1 5 mm	あごひも止め

4 縫製

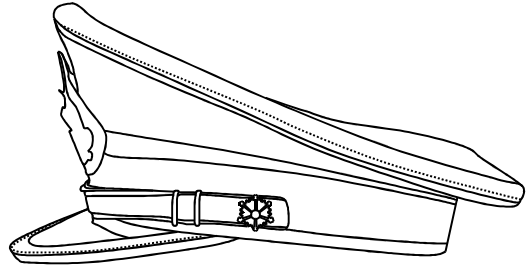
区 分	要 領
あごひも	あごひもの両端は、帽の両側において消防章を付けた金色金属製釦を各 1 個で止めること。 形状は、別添概要図のとおりとすること。
き 章	銀色金属製消防職員用き章をモール製金色桜で抱擁すること。 台地は地質と同色とすること。 形状及び寸法は別添概要図のとおりとすること。
周 章	帽の腰回りには、消防士用蛇腹線を巻くこと。
縫製・一般	各部の縫い合わせは、優良で縫い代が適当であること。 縫い目の飛び、外れがないこと。 糸調子は縫い目が優良で縫い曲がりがないこと。 各部の合標、曲線は十分注意すること。
そ の 他	記載されていない箇所については担当の指示によること。

概要図

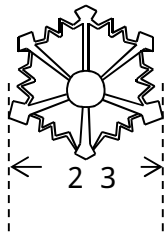
正面



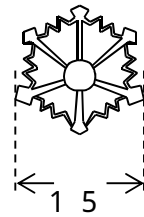
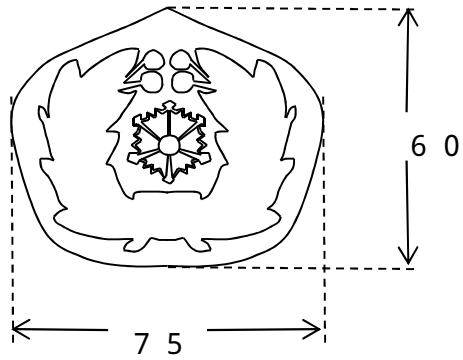
側面



消防章



あごひも留め消防章



(数字は寸法を示し単位はミリメートルとする。)

夏帽（男性用）

仕 様 書

草加八潮消防局

仕 様

1 概要

この夏帽（男性用）の形状は、別添概要図のとおりとする。

2 型式

円形、前ひさし及びあごひも付きとする。

3 材料

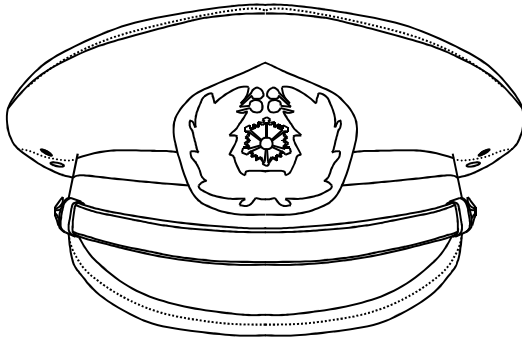
区 分	仕 様	用 途
主材料	ニッケ<EW7360> c/# FD紺 ポプリン 毛 30% 再生ポリエステル 69.5% 静電性繊維 0.5% (同色・同品質以上のもの)	帽 部
副材料	紺色合成樹脂	前ひさし あごひも
釦	金属製消防章マーク入り 12mm	あごひも止め

4 縫製

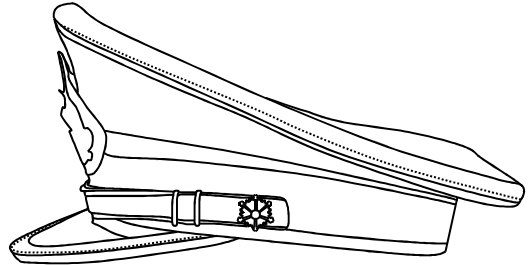
区 分	要 領
あごひも	あごひもの両端は、帽の両側において消防章を付けた金色金属製釦で各1個で止めること。 形状は、別添概要図のとおりとすること。
き 章	銀色金属製消防職員用き章をモール製金色桜で抱擁すること。 台地は地質と同色とすること。 形状及び寸法は別添概要図のとおりとすること。
周 章	帽の腰回りには、蛇腹線を巻くこと。
縫製・一般	各部の縫い合わせは、優良で縫い代が適当であること。 縫い目の飛び、外れがないこと。 糸調子は縫い目が優良で縫い曲がりがないこと。 各部の合標、曲線は十分注意すること。
そ の 他	記載されていない箇所については担当の指示によること。

概要図

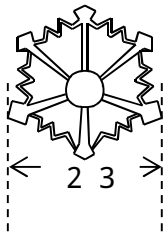
正面



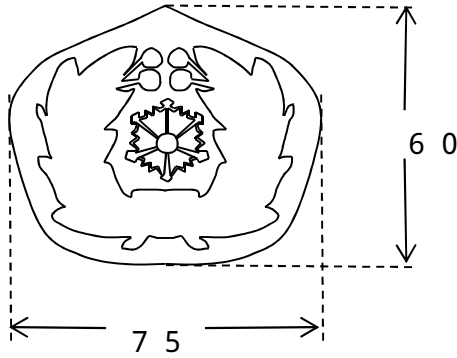
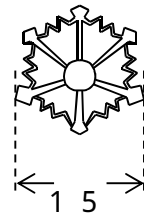
側面



消防章



あごひも留め消防章



(数字は寸法を示し単位はミリメートルとする。)

ワイシャツ
仕様書

草加八潮消防局

仕 様

1 色及び地質

色は白色とし、生地 of 混紡率は概ね、ポリエステル 65%、綿 35%とする。

2 形状

- (1) シングル前で、釦は、6個付きとする。
- (2) 襟は、台襟付きシャツカラーとする。
- (3) 肩ヨーク切り替えとする。
- (4) ポケットは、左胸にアウトポケットを付ける。
- (5) 袖口は、剣ポロ明き及び袖カフス付きとし、釦を付ける。

制服（冬）上衣（男性用）
仕 様 書

草加八潮消防局

1 型式

(1) ダブル型、2ツ掛6ツ釦、襟ステッチ入り、蛇腹付きとし、左腕部分に上衣と同系色の標示章用台座（別添概要図2）を縫い付ける。

(2) 材料

区 分	仕 様	用 途
主 材 料	ニッケ（S8902C）C / # E紺 カシミヤドスキン 帯電防止（CL）加工 強撥水・防汚 （スーパーセルボニック）加工 経 2 / 64 × 2 / 64 ウール 65% ポリエステル35%	表 地
	東レ#303（抗菌・防臭・静電）C / # E濃紺	裏 地
	4号スレキ綿100%	袋 地
	（主材料等は同色・同品質以上のものとする。）	
副 材 料	特殊接着芯 ハスケル7661B増芯毛芯	フロント芯
	ハスケル768	襟 芯
	AP16500	袖 裏
	T230カラー紺 マーベルトラッセル入り	腰 裏
	消防職員用き章入り金属製釦 径20mm	前 釦
	樹脂4つ穴タライ釦 径14mm	内 釦
	綿又は弾力性のある合繊	肩 綿
マジックテープは、表地と同系色のものとする。		標示章用台座

(3) 縫製

区 分	要 領
襟	上襟は、縫い倒しミシン割り縫いとすること。 上襟は、山刺し12本、衿腰は30mm、襟の返りは40mmとすること。 下襟は腰刺し7本以上とすること。 左襟にバッジ穴を付けること。
階級章台座	右胸部に階級章用マジック台座（メス）を縫付けること。 サイズは縦2.5cm×横4cmとすること。

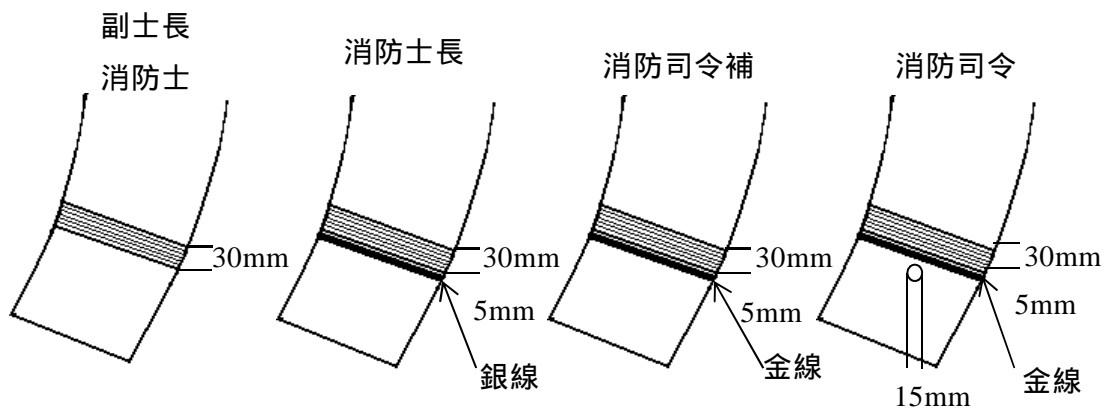
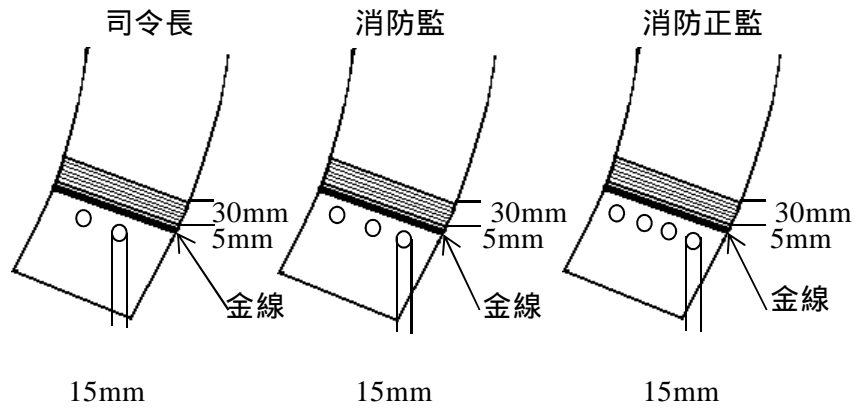
胸ポケット	<p>左胸部に1個付けること。</p> <p>内部見返しよりに手帳吊りループを付けること。</p> <p>口布の巾25mm、口巾は115mm、深さ140mmとすること。</p> <p>ポケット位置裏に力布の巾を広く当て地縫いすること。</p>
腰ポケット	<p>両玉縁雨蓋付きとすること。</p> <p>左右腰部にそれぞれ1個付けること。</p>
内ポケット	<p>左右内側胸部にそれぞれ1個付けること。</p> <p>両玉縁三角雨蓋付14mmハトメ穴とすること。</p> <p>口巾は140mm、深さ180mmとすること。</p>
袖	<p>割縫いし、上袖は130mmの袖芯を入れること。</p> <p>袖蛇腹は袖口より110mmのところに付けること。</p>
標示章用 マジック台座	<p>別添概要図1の位置に標示章用マジック台座（別添概要図2）を縫い付けること。</p>
裾	<p>表地折り込みは40mm以上とすること。</p>
その他	<p>釦ホールはハトメ機械穴とすること。</p> <p>襟吊りは襟腰中央に付けること。</p> <p>品質表示票は片布の下に付けること。</p> <p>ダーツは胸1本ウエスト線まで、脇は裾まで、裏も同様、表ダーツは割縫い、裏ダーツは片倒しとすること。</p> <p>記載されていない箇所については担当の指示によること。</p>

2 縫製・一般

上 衣	<p>各部の縫い合わせは、優良で縫い代が適当であること。</p> <p>縫い目の飛び、外れがないこと。</p> <p>糸調子は縫い目が優良で縫い曲がりがないこと。</p> <p>縫い目数は指定どおりにすること。</p> <table border="0"> <tr> <td>地縫い</td> <td>運針数</td> <td>12針以上 / 3cm間</td> </tr> <tr> <td>飾りステッチ</td> <td>"</td> <td>12針以上 / 3cm間</td> </tr> </table> <p>飾りステッチ幅は約0.5cmで脇ポケット袋部分は端ミシンとすること。</p> <p>飾りステッチは表ミシンとすること。</p> <p>各部の合標、曲線は十分注意すること。</p> <p>アイロン仕上げのプリーツについては、高圧接着とすること。</p> <p>接着芯はアイロンを用いて、全面接着とすること。</p>	地縫い	運針数	12針以上 / 3cm間	飾りステッチ	"	12針以上 / 3cm間
地縫い	運針数	12針以上 / 3cm間					
飾りステッチ	"	12針以上 / 3cm間					

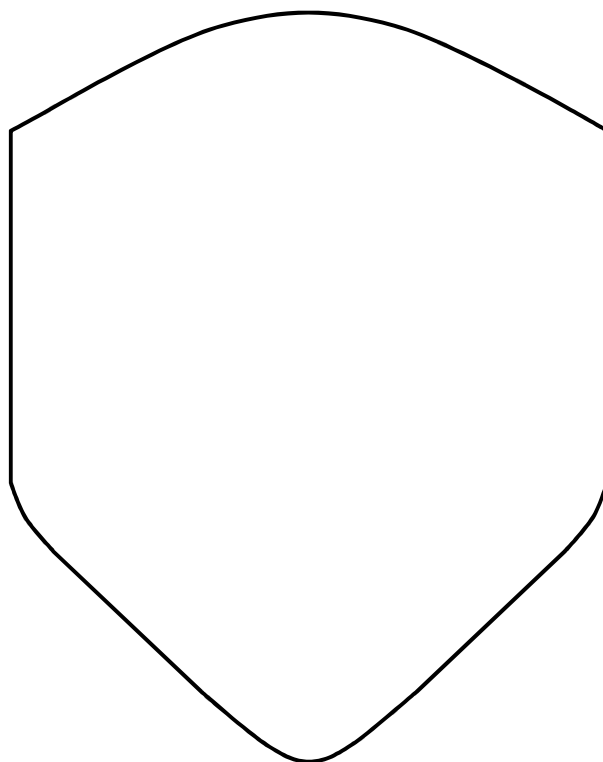
	<p>台芯接着芯は全て高圧加熱芯入りでプレス機を用いて全面接着すること。</p> <p>布目は正確にとること。</p>
--	---

概要図 1



概要図 2

標示章用台座サイズ（実物大）



制服（冬）下衣（男性用）
仕 様 書

草加八潮消防局

1 型式

長スラックス裾シングル型、腰部調整器具（アジャスター）付きとし、別添概要図のとおりとする。

(1) 材料

区 分	仕 様	用 途
主 材 料	ニッケ（S8902C）C / #E紺 カシミアドスキン 帯電防止（CL）加工 強撥水・防汚 （スーパーセルボニック）加工 経 2 / 64 × 2 / 64 毛 65% ポリエステル35%	表 地
	（主材料等は同色・同品質以上のものとする。）	
副材料	T230カラー紺	裏 地
	入綿布	膝 当 地
	YKK製ファスナー	前 立

(2) 縫製

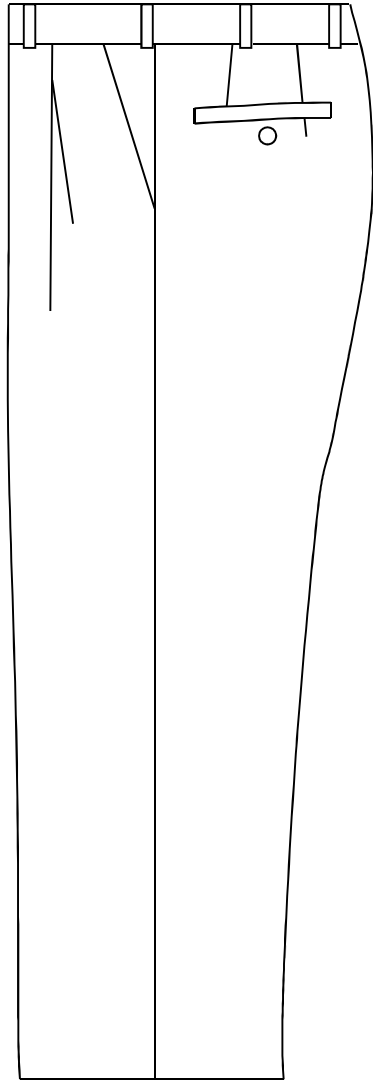
区 分	要 領
前身頃	外向きで深さ約10mmのタックを左右に付けること。 内股、脇及び天狗縫い付け部裾はオーバーロック掛けとすること。
後身頃	尻ポケットの巾の中に2条のダーツを左右各1本とり片倒しとすること。 内股、脇及び、尻はオーバーロック掛けとすること。
前 立 天 狗	前立てファスナー開きとし、持ち出し付きとすること。 上部にカギホックを付けること。 天狗に芯地布を付けること。 棒シックは小又門より後身に70mm以上のシックを浮かし付けること。
脇ポケット	口巾150mmの斜め切り込みポケットを付けること。 上部門の位置に巾80mm以上を袋地として縫い付けること。 袋地底は地縫いをし、幅5mmの飾りステッチをすること。 ポケット口上下を閉止めとすること。 右ポケット内側に小物ポケット入れを付けること。

尻ポケット	<p>右後身上端より 80 mm の位置にポケットを付けること。</p> <p>袋地はポケット位置に張り、必ず腰飾り上部にかかるように縫い付けること。</p> <p>口巾 140 mm で片玉縁にて雨蓋付とし、雨蓋にハトメ穴釦ホールをかがること。</p> <p>ポケット両端は閉止めとすること。</p>
腰部	<p>腰部調節器具（アジャスター）を付けること。</p> <p>腰帯は尻合わせ部分で割り縫いとすること。</p> <p>ラッセル入りマーベルトを使い帯下部の落としミシンでマーベルトを縫い付けること。</p> <p>マーベルトの尻合わせは割り縫いとすること。</p>
脇及び内股縫い	<p>裁目はオーバーロック掛けし、1本針1本糸使いの環ミシン掛け、割り縫いとすること。</p>
尻縫い	<p>割り縫いとし、二重縫いとすること。</p> <p>上部で 20 mm 以上の縫い代とすること。</p>
ベルトとおし	<p>上部より 10 mm 下に巾 8 mm、長さ 45 mm のループ 8 本を付けること。</p>
膝当て	<p>両端がほつれないよう縫い付けること。</p>
裾	<p>折り返しは 50 mm 以上とし、巾 20 mm、丈 150 mm 以上の靴ズレを付けること。</p>
片布サイズマーク品質クロス	<p>右脇ポケット袋地に織りマークと共に縫い付けること。</p>
ファスナー	<p>ファスナー付け止めを完全にし、開き下部にかな止めを入れること。</p>
その他	<p>記載されていない箇所については担当の指示によること。</p>

2 縫製・一般

下衣	<p>各部の縫い合わせは、優良で縫い代が適当であること。 縫い目の飛び、外れがないこと。 糸調子は縫い目が優良で縫い曲がりがないこと。 縫い目数は指定どおりにすること。</p> <table data-bbox="454 481 1252 571"><tr><td>地縫い</td><td>運針数</td><td>12針以上 / 3cm間</td></tr><tr><td>飾りステッチ</td><td>"</td><td>12針以上 / 3cm間</td></tr></table> <p>飾りステッチ幅は約0.5cmで脇ポケット袋部分は端ミシンとすること。 飾りステッチは表ミシンとすること。 各部の合標、曲線は十分注意すること。 アイロン仕上げのプリーツについては、高圧接着とすること。 接着芯はアイロンを用いて、全面接着とすること。 台芯接着芯は全て高圧加熱芯入りでプレス機を用いて全面接着すること。 布目は正確にとること。</p>	地縫い	運針数	12針以上 / 3cm間	飾りステッチ	"	12針以上 / 3cm間
地縫い	運針数	12針以上 / 3cm間					
飾りステッチ	"	12針以上 / 3cm間					

概要図



制服（夏）仕様書
（上衣長袖・上衣半袖・下衣）

草加八潮消防局

1. 概要

この仕様は、草加八潮消防局における消防吏員用制服（夏）上下について定める。

なお、男性用及び女性用の別、また、上衣及びズボンの別、長袖及び半袖の別については十分留意するものとし、概要図のとおりとする。

2. 総則

- (1) 当夏制服の製作に要する費用は、当初に契約した見積額のとおりとし、追加支出は一切認めない。
- (2) 使用素材はすべて良質なものを使用するものとし、特に紡績糸は糸ムラ、織りキズ（ヨリ）ムラなどないもの、また、織上りは均正で、織りキズ、糸節、汚れなど欠点のないものを使用しなければならない。
- (3) 縫製については、各部の縫い合せ部はすべて優良で縫いとび、縫い外れ、その他の欠陥がないよう十分配慮し行わなければならない。又仕様書に記載なき事項についても良心的に対処すること。
- (4) 製品の納入に際しては、1着ごとにプレスした後ビニール袋により包装し、氏名、サイズが容易に確認できるようにし、名簿等に基づき、所属ごとにまとめて納品すること。
- (5) 納入業者は早急に試作品を提出し、担当者の検査を受けること。この時、仕様書の内容を納入者の解釈にて勝手に変更してはならない。
- (6) この仕様書に疑義を生じたときは、担当者の指示を受けなければならない。
- (7) 採寸については、サイズ表による試着ゲージを提出し、各人によりサイズを決定するものとする。（ズボン股下の寸法は各人の体型に合わせて仕上げること。）
- (8) 打ち合わせについては、上衣（長袖・半袖）及びズボンともに、男性用は左上前とし、女性用は右上前とすること。

3. 形式（SR立体型裁断）

上衣

カッター衿・衿台・長袖はカフス裏（配色）・肩章付・前立5個釦（15mm）・左右胸ポケット雨蓋付・脇部切り替え・脇下ベンチレーション機能

ズボン

ワンタック、両脇ポケット付き、後ダーツ、左上前ファスナー開き前カン止め、後身切り替え、内股部ハギ入り、ベルトループ8本付、左右後部ポケット、左ボタン止め、裾ミシンたたき

4. 主材料

上衣

ア 品 番	:	< G F S 9 >	シャンプレー
イ 混紡率	:	毛	30%
		ポリエステル	69%
		導電性繊維	1%以内

(導電性繊維混入)

ウ 色 相 : C/# 青淡色(指定色)

ズボン

ア 品 番 : < K Y 3 5 9 > エコストレッチトロピカル

イ 混紡率 : ウール 20.0%

再生ポリエステル 79.5%

制電性繊維 0.5%

ウ 色 相 : C/# 花紺(指定色)

5. 縫製条件

針数

3cm間で地縫いは11針以上、飾り縫いは12針以上、オーバーロックは8針以上とする。

穴かがり

上衣はネムリ穴・ズボンはハトメ穴とする。

釦付

機械付又は手付とする。

裁縫

糸調子は上下とも、ツレ・タルミのないようにし、返し針を完全にすること。

縫い糸はテトロン糸を使用し、糸始末は丁寧に行うこと。

6. 縫製要領

上衣

ア. 主衿

テトロン芯を入れ、衿巾は中央で4.5cm、衿先巾8.5cmとする。

衿台の内側に配色としてズボン生地を使用する。

イ. 前立て

前立ては表ガク付きとし、直径15mmのサックス系釦を5個付け、上前部は巾4cmとし、下前部は巾3cmにて折返し、衿台より裾までステッチミシンを入れる。

ウ. 衿吊

衿吊は所定のものを衿付中央に、はさみ縫い付けとする。

エ. 胸ポケット

胸ポケットは左右2個で雨蓋付とする。雨蓋には所定のテトロン芯を入れる。

雨蓋は巾中央で高さ6cm(端部で高さ4.5cm)横14.0cm、胸ポケットは横巾13.5cm、深さ15.5cm、インダーツとする。

雨蓋はマジック止めとする。(ループは不可とする。)

オ. ペン刺し

左胸ポケット雨蓋の中心部から2.0cm内側に入った所に巾2.5cmのペン差しをつける。

カ. エンブレム台

左袖に袖付けより 8cm 下に、当局指定のエンブレム取り付け用面ファスナーを縫い付ける。

キ．背ヨーク

背ヨークは 1 枚仕立とし、ヨーク巾は中央で 7.0cm、はさみ縫いとし表一条飾りミシン縫いとする。

ク．肩縫い

片倒しステッチ縫いとする。

ケ．脇身頃

脇身頃は裾から袖口までハギを入れ、腕の活動域を広げ、活動時において上衣がずり上がらない構造とする。

コ．背タック

なしとする。

サ．ベンチレーション

通気性を良くし、脇下の蒸れを軽減するため、脇下部にベンチレーション機能を設けること。

シ．袖

2 枚袖とし、後袖切り替え線は肩袖側に片倒しをし、飾りステッチをかける。

前袖切り替え線も肩袖側に片倒しをし、飾りステッチをかける。脇袖切り替えは前袖後袖側へ片倒しをし、飾りステッチをかける。

ス．袖付け縫い

本縫し更にオーバーロックをかける。(インターロックミシンは可とする。)

セ．袖口

長袖は後袖切り替え線上の袖口にあきを設け、釦 2 個を付ける。

カフス裏には配色としてズボン生地を使用する。

半袖の袖口はミシンたたきとする。

ソ．片布・品質表示

所定のを上前胸ポケット裏面中央に縫付け、その下に品質表示を縫い付ける。

タ．サイズネーム

衿付中央の下縁に、はさみ縫い付ける。

チ．階級章台

下前身頃雨蓋付根、中央上部 1.5cm 上に縦 2.5cm、横 4.0cm のマジックテープ (メス) を縫い付ける。

ツ．肩章

巾は 5.0cm とし、端を袖付けの縫目に縫込み、4.0cm 内側に入ってクロスステッチを入れること。肩章の先は衿付根部より 1.5cm 下がった位置とする。

テ．裾折り返し

裾は三ッ折り縫いとする。

ズボン

ア．前タック

左上前ファスナーあき、左右のウエストにワンタックをとり、脇側（外向き）に片倒しをする。

イ．腰帯

腰帯幅は4cmとし、腰裏にはすべり止め付き腰裏を縫い付ける。

ウ．前立て

上前の前立てに芯を貼り、約3.5cm幅の飾りステッチで押さえ、ファスナーあき止まり位置は小丸にし、閉止めをする。見返し奥の裁ち目は芯と共にオーバーロック始末をする。右下前ファスナー下に持ち出し布を付け、身頃と持ち出し布のはぎ目にファスナーを挟みコバステッチをかける。持ち出し布は表裏共に表地とし見返し側の奥端はオーバーロック始末をする。

エ．脇ポケット

左右の両脇に斜め切り替えポケットを各1個付ける。ポケット口の長さ16.5cmとし、口の上下端に閉止めをする。口にはコバステッチと6mm幅のダブルステッチをかける。向う布の表地端は、袋布に縫い合わせる。袋の周囲は袋縫いをする。

オ．後部

後中心の尻縫いは片倒しし、飾りステッチをかける。裁ち目はオーバーロック仕上げとする。脇線と後中心の間に裾口まで切り替え、脇下の方へ片倒しステッチをかける。なお、強度を確保するため、片倒しステッチ縫製とする。

カ．後ポケット

左右後に口幅14.0cm、深さ17.5cmの片玉切りポケットを各1個付け、左側のポケットは釦止めとする。なお、口の両端は閉止めをする。

キ．ベルトループ

ベルトループ幅10mm、長さ55mmのものを全体で8本、後中心は2本付ける。

ク．シック補強

内股クロス十字部にシック布を補強のため四箇所縫い止める。

ケ．裾

裾はオーバーロックのハーフ始末とする。

コ．脇縫い

後へ片倒しとし、飾りステッチをかけ、裁ち目はオーバーロック始末とする。

サ．内股補強

縫い割し、股交差部に左右対称の三角形型のハギを入れ、股割動作における突っ張りを緩和する伸縮構造とすること。

シ．サイズ表示・品質表示

片布下端に挟むこと。

ス．片布

左脇ポケット袋布に縫着すること。

上 衣

(出来上がり寸法)(単位：c m)

	上衣丈	胸囲	肩巾	袖丈	ネック
A 3 S	7 2	9 5	4 2	1 9	3 6
A S S	7 2	1 0 0	4 3	2 0	3 6
A S	7 2	1 0 5	4 4	2 1	3 7
A M	7 5	1 1 0	4 6	2 2	3 8
A L	7 8	1 1 5	4 8	2 3	3 9
A L L	8 1	1 1 9	4 9	2 4	4 0
A 3 L	8 4	1 2 3	5 1	2 5	4 2
A 4 L	8 6	1 2 9	5 3	2 5	4 5
B S	7 2	1 1 3	4 7	2 1	3 8
B M	7 5	1 1 9	4 9	2 2	4 0
B L	7 8	1 2 5	5 1	2 3	4 2
B L L	8 1	1 2 9	5 3	2 4	4 5
B 3 L	8 4	1 3 3	5 6	2 5	4 7
B 4 L	8 4	1 4 1	5 8	2 5	4 9
B 5 L	8 4	1 5 1	6 0	2 5	5 1

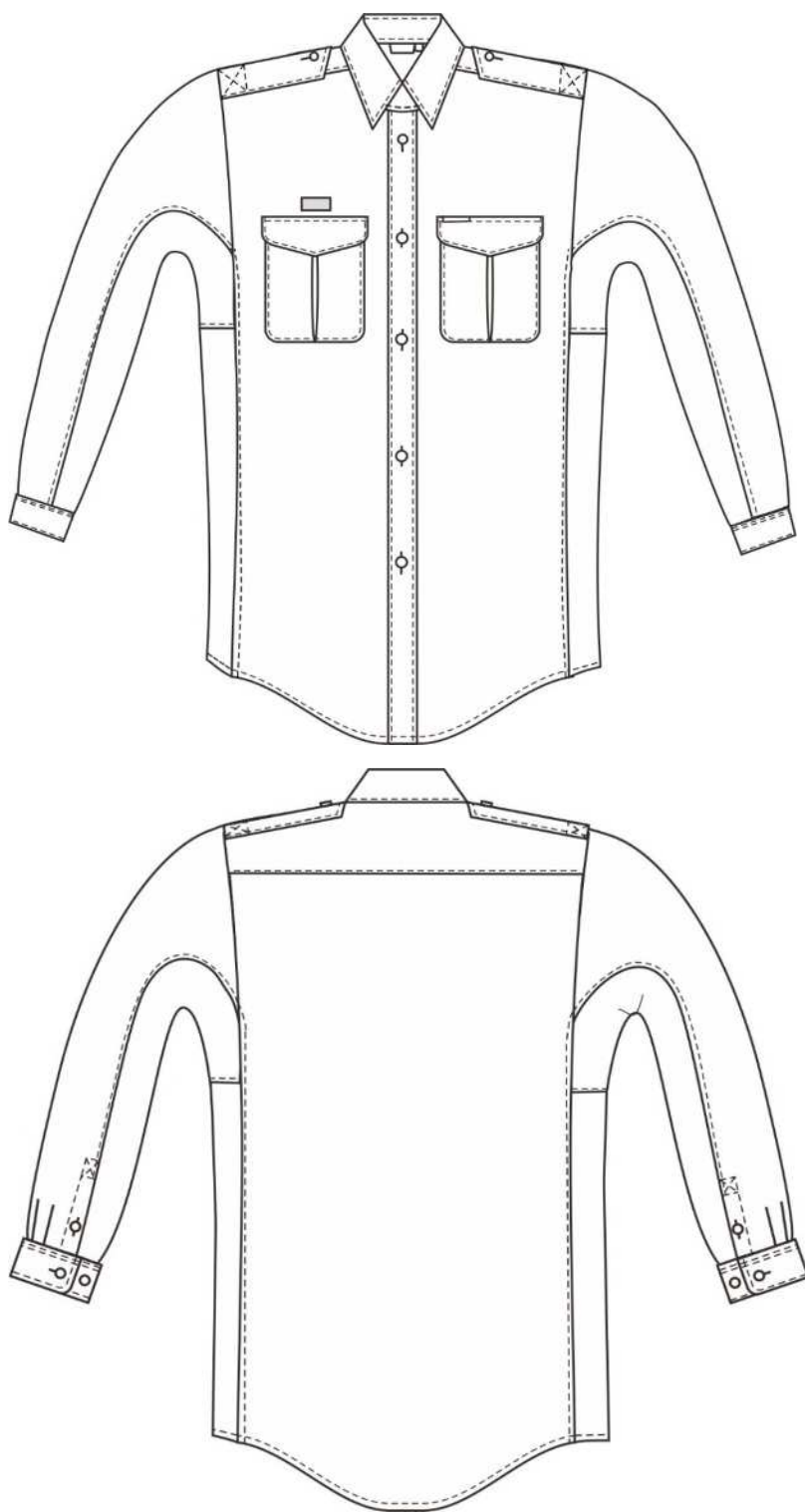
ズボン

(出来上がり寸法)(単位：c m)

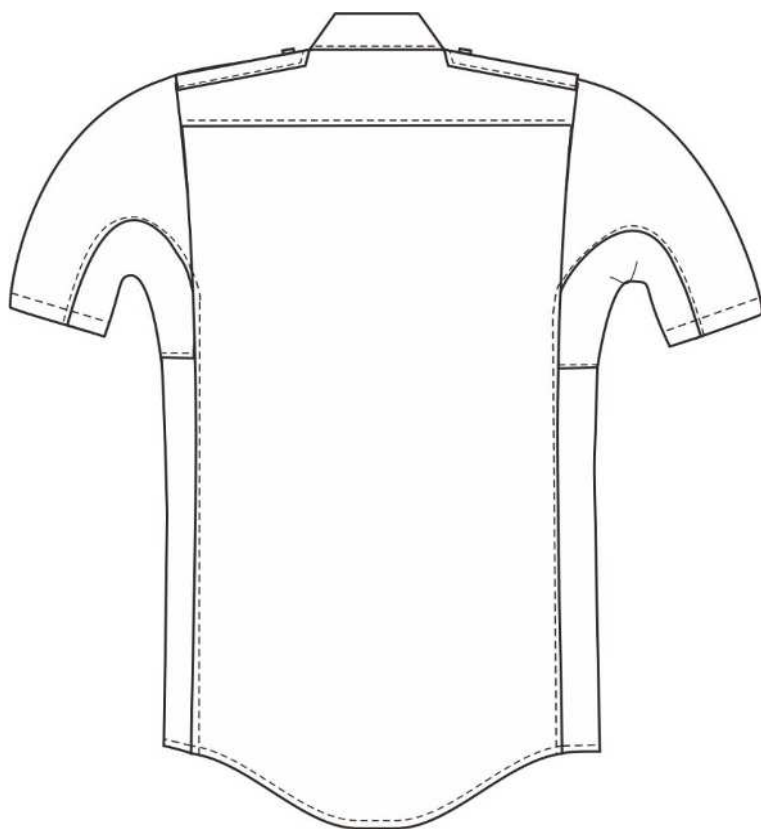
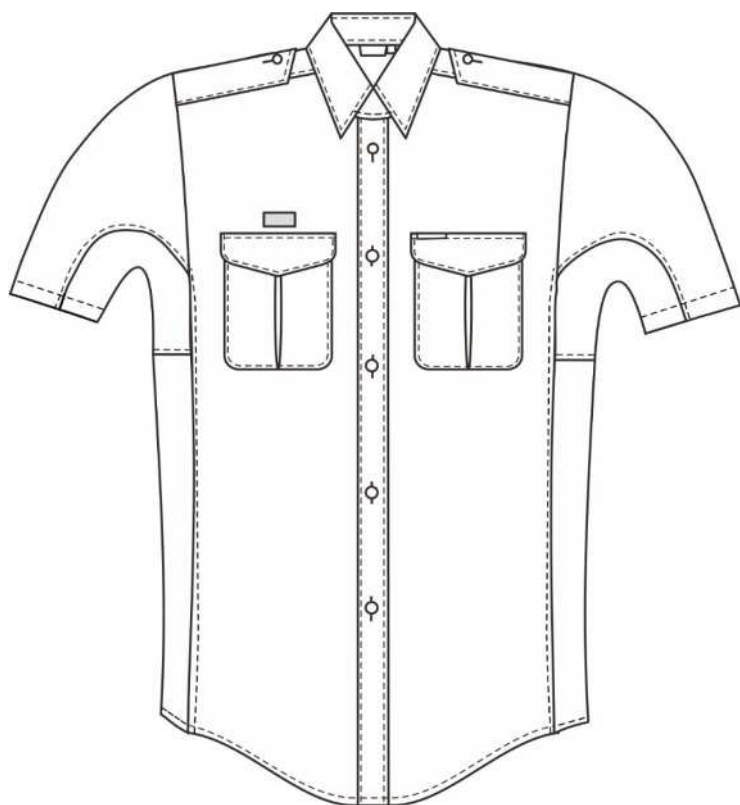
サイズ	ウェスト	ワタリ巾	サイズ	ウェスト	ワタリ巾
A 0 0 0	6 1	3 1	W 1 1 5	1 1 5	4 2
A 0 0	6 4	3 2	W 1 2 0	1 2 0	4 3
A 0	6 7	3 3	W 1 2 5	1 2 5	4 4
A 1	7 0	3 4	W 1 3 0	1 3 0	4 5 . 5
A 2	7 3	3 4	W 1 4 0	1 4 0	4 7 . 5
A 3	7 6	3 4			
A 4	7 9	3 4 . 5			
A 5	8 2	3 5			
A 6	8 5	3 5 . 5			
A 7	8 8	3 6			
B 2	9 1	3 7			
B 3	9 5	3 7 . 5			
B 4	1 0 0	3 8 . 5			
B 5	1 0 5	3 9 . 5			
B 6	1 1 0	4 0 . 5			

概要図

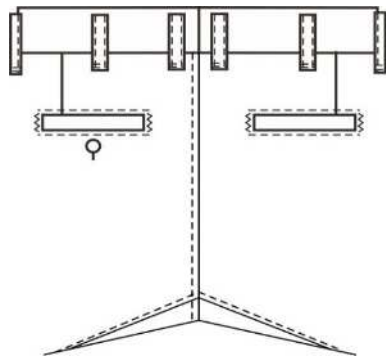
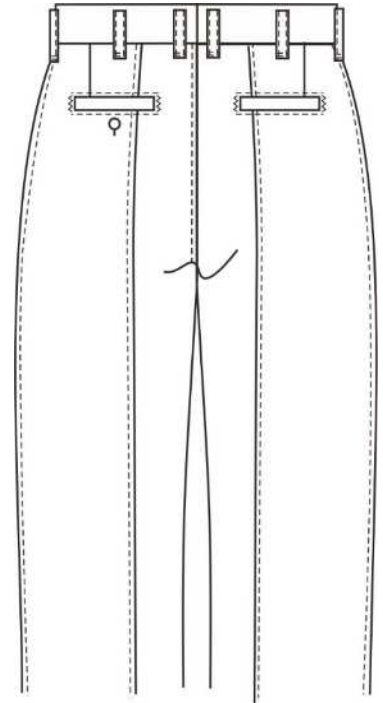
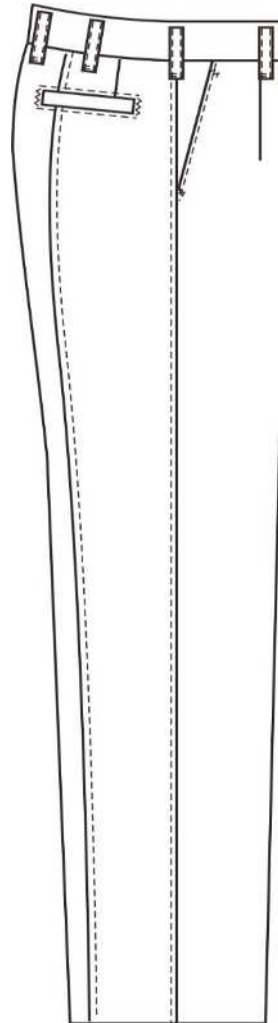
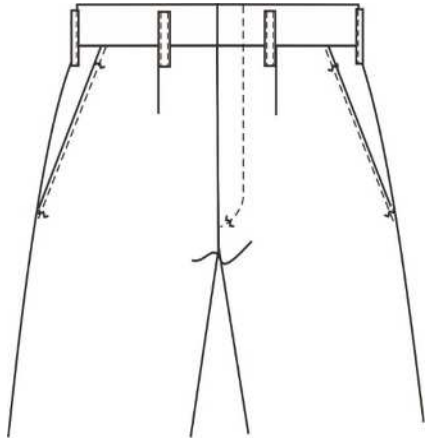
1 上衣長袖



2 上衣半袖



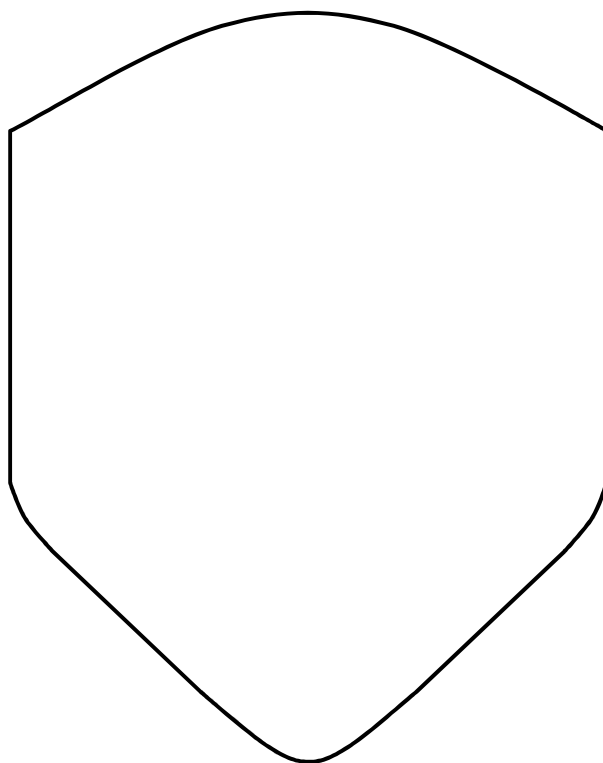
3 ズボン



参考

標示章（エンブレム）用台座サイズ【実物大】

縦 10 cm × 横 8 cm程度



ネクタイ
仕様書

草加八潮消防局

仕 様

1 概要

ネクタイの形状は、概ね概要図のとおりとする。

2 形式

男性用ネクタイは、T I X S 製 N S 8 0 0 1 - 2 (又は同色・同質品以上)とし、女性用はT I X S 製 N S 8 0 0 1 - 4 (又は同色・同質品以上)とする。

3 色及び柄

紺色を基本としたストライプで罫マーク入りとする。

4 材料

ポリエステル100%とする。

概要図

男性用



女性用



マーク



スライドバックル式バンド（制服（夏）・活動服用）
仕 様 書

草加八潮消防局

仕様

1 概要

このバンドは、概要図のとおりとする。

2 本帯色及び地質等

- (1) 青色のナイロン製とし、巾30mmとする。
- (2) バンド端部にホツレ止め金具を付ける。

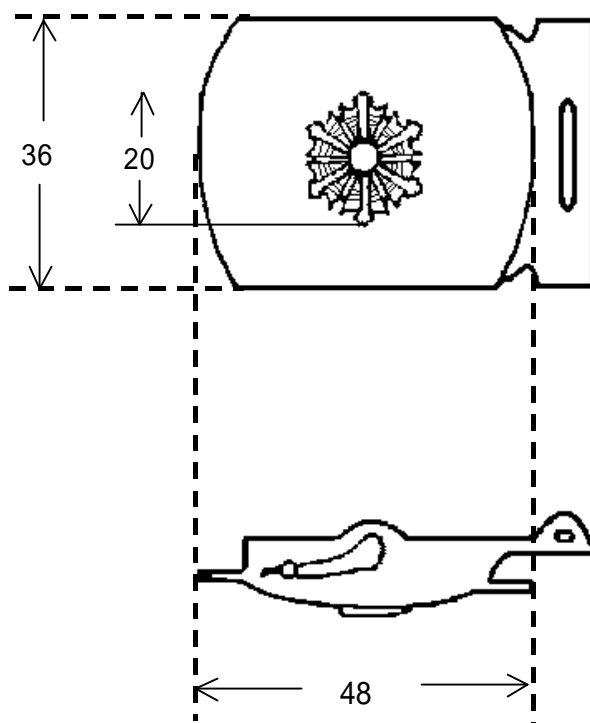
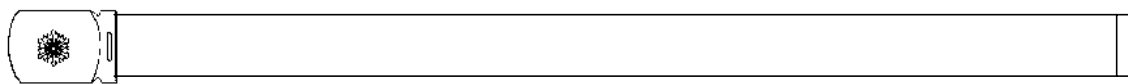
3 前金具

金具中央に消防章を付け、銀色とする。

4 形状・寸法

長さは100cm又は120cmとする。

概要図



スライドバックル式バンド（制服（冬）用）
仕 様 書

草加八潮消防局

仕様

1 概要

このバンドは、概要図のとおりとする。

2 本帯色及び地質等

- (1) 濃紺色のナイロン製とし、巾30mmとする。
- (2) バンド端部にホツレ止め金具を付ける。

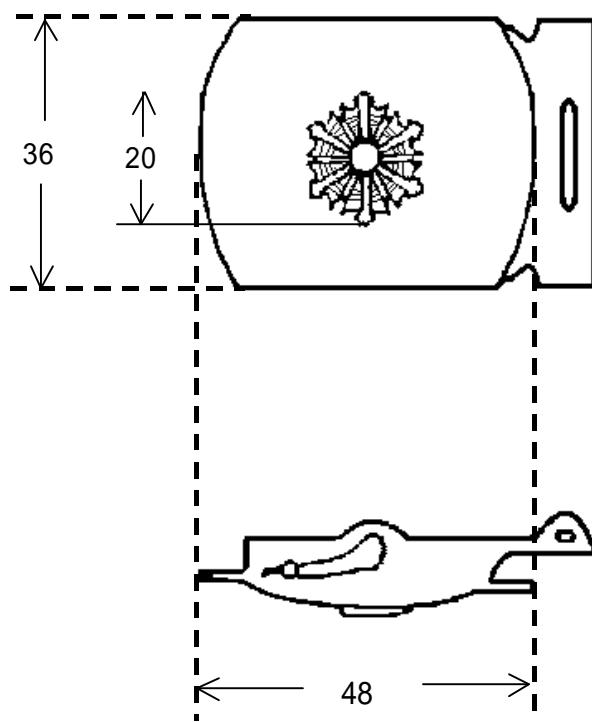
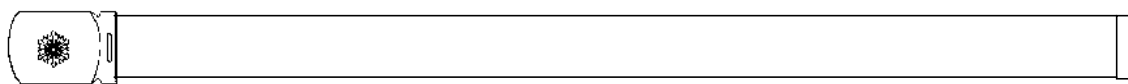
3 前金具

金具中央に消防章を付け、銀色とする。

4 形状・寸法

長さは100cm又は120cmとする。

概要図



ダブルピンバックル式バンド（活動服用）
仕 様 書

草加八潮消防局

仕 様

1 概要

このバンドは、ダブルピン 50 mm巾ナイロンベルトとする。

2 色及び地質

(1) 青色のナイロン製とする。

(2) 50mm 巾カット不可とし、ハトメを 10 個程度取り付けたものとする。

3 前金具

ダブルピン型、銀色とする。

4 形状・寸法

長さは 100 cm又は 110 cm、 120 cmとする。

外とう（防寒衣）

仕 様 書

草加八潮消防局

仕 様

1 概要

この外とう（防寒衣）は、人間工学によるデザインでブルゾン型とし、形状は別添概要図1のとおりとすること。

2 型式

前身頃にポケット2個、左袖にペン刺しを別添概要図1のとおりミシンで縫い付け、背部に「SOKA YASHIO FIRE BUREAU」と別添概要図2の位置に2段で刺繍すること。

3 材料

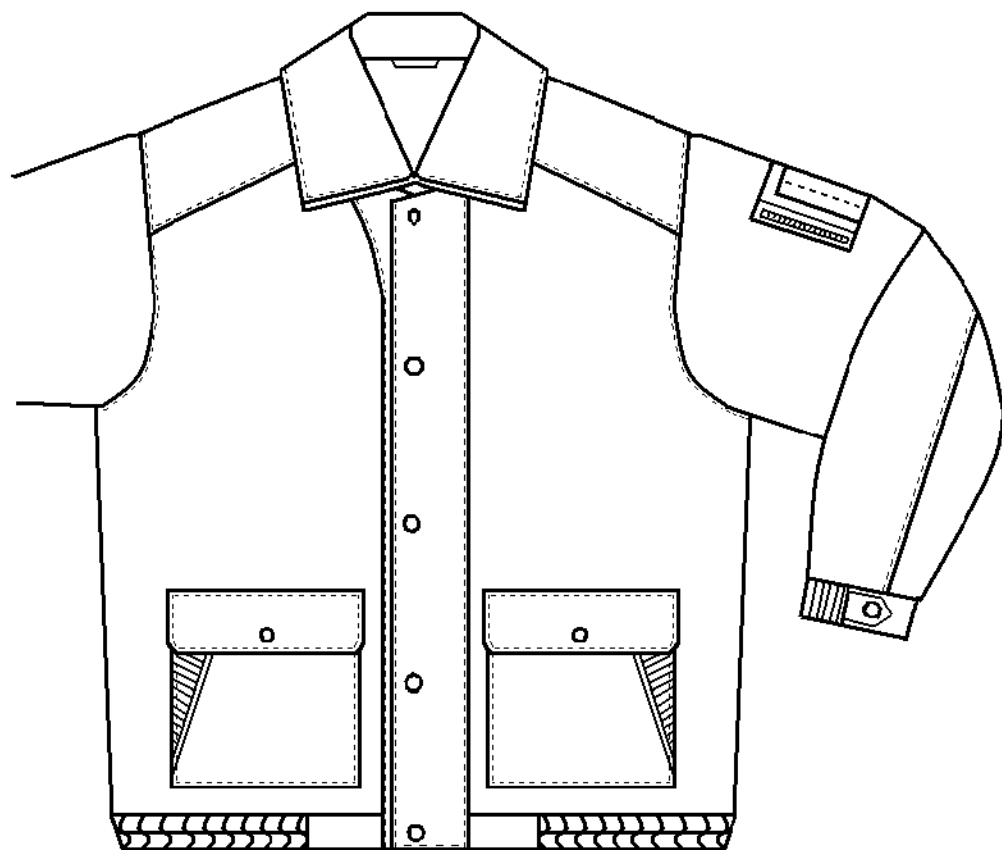
区 分	項 目	仕 様		
表 地	種 類	テイジン シルモンドツイル T 8 5 4 4 9		
	規 格	1 5 0 cm × 5 0 cm 乱		
	混 紡 率	ポリエステル 1 0 0 %		
	糸 使 い	7 5 de		
	織 組 織	綾織		
	密 度	1 9 0 × 1 0 5 / 2 . 5 4 cm間		
	重 さ	1 9 0 g v / m ²		
	耐 水 性	L 2 0 1 0 0 点		
	漏 水 性	L o 5 0 0 ~ 6 0 0 mm		
	堅 牢 度	水圧 3 0 0 mm、4 h r s 漏水なし		
そ の 他	導電繊維混入			
裏 地 (キルティング)	中 綿 ライニス 不 織 布	アイザック (I P - 1 0 0) 1 0 0 g / m ² T - 3 2 1 0 0 c / # 9 4 色相 グレー (テトロン タフタ) ポリエステル 1 0 0 %		
補助材料	コイルファスナー	5 V S D A 7 S P (N)	ブルー	前立用
		3 V S D F D R (止)	ブルー	袖用
	釦	P 6 N ナイロンホック	ブルー	前立・袖用
	縫 製 糸	ポリエステル 1 0 0 % 5 0 番		

区 分	規 格	使用文字
刺繍文字	白及び赤 白部分は蓄光刺繍糸を使用すること。	S O K A Y A S H I O F I R E B U R E A U

4 縫製

区 分	要 領
襟	不織布接着芯を入れ波刺し一本付き襟幅は中央で約10cm、襟先12cmで飾りステッチ仕上げとすること。襟表はネイビー、襟裏はオレンジとすること。
脇ポケット	表生地に不織布接着芯入り雨蓋付きポケットとし、押しホック止めとすること。形状は、箱ポケットの上に切りポケットを重ね縫いとすること(ハンドウォーマー)。切りポケット向当ては、オレンジ色とすること。両方ともポケット口は環止めとすること。
前身頃	前身頃は左右各二枚裁ちとすること。両前中央にデルリンファスナーを襟上部まで挟み縫いする下部は左右とも環止めをすること。右下前と左上前に不織布接着芯入りの額を縫い付け各々押しフック5個打つこと。前身上部にハギを入れ地縫いをし、ステッチとすること。額の裏側、見返しはオレンジとすること。
後身頃	後身頃は一枚ハギとし、背ヨークはハギなしで中央高さ約18cmとすること。後見頃と背ヨークは地縫いをし、表のみ約0.5cmの飾りステッチとすること。
袖	袖は3枚ハギとし、肘ぐせをとり袖口は水かき付きカフス形状で45mmの平ゴムで絞り、調整用の押しフックを2個付けること。左袖付け中心より約5cm下りに10cm×14.5cmの張りポケットを付け、左横側はデルリンファスナーにより開閉式とすること。張りポケットの上に6cm×12cmのペン差しを重ね縫いし中央にステッチを掛けること。
裾周り	表生地中央部より11cmの所まで左右ゴムなし、それ以外は生地にゆるみを持たせた50mmの平ゴムを入れ収縮性を出し、しぼりとすること。
中綿	身頃、袖共裏側全面にアイザックキルトを使うこと。
片布	左前身頃下部に片布を縫い付けること。

概要図 1



概要図 2



雨 衣
仕 様 書

草加八潮消防局

仕 様

1 概要

この雨衣は、上衣・ズボンの2点を一組とし、フードを付属とする。形状は別添概要図1のとおりとする。

素材には東レ“ エントラント®・HP ”を使用し、防水性と透湿性（3層構造）を併せ持ったものとする。

耐水圧は20,000^{mm}以上、5,000g/m²・24h以上（A-1法）とする。

この雨衣は上下別売り可能とし、上衣、ズボンでサイズが選択できることとする。

2 上衣型式

ステン襟、袖はボックス袖、袖口は半ゴム半ベルト式、背ヨーク（空気抜き）付、左右脇ポケット雨フタ付き、前立てはファスナー式で前面釦止めヒヨク付きとし、背部に「草加八潮消防局SAITAMA」と指定文字で背面上部に2段でプリントする。

(1) 材料

区 分	仕 様	用 途
表 地	エントラント®・HP 1100T 規格 Width 145×Length 100 イエロー(F15)色 厚さ0.27mm 重量120g / m ² 堅牢度4級以上 ナイロン100%リップスルータフタ 56dt× 56dt 135T×114T(同色・同品質以上のもの)	上衣、フード
裏生地	ナイロン66 22dt使用ハーフトリコット (同品質以上のもの)	上衣、フード
芯 地	ポリエステル100% L B 19 S W 白 100cm巾	上衣、フード
目張りテープ	エントラント®・3層用シームテープ E 3 0 0 20mm巾	各接合部分全般
縫 糸	ポリエステル100% G K 6 0 / 5 0 0 0	
釦	樹脂製頭セルP-6 径13mm 4pce/set イエロー(襟4個、前タテ7個、ポケット2 個)	上衣

ゴ ム	30M/R 30mm巾タックゴム 白 (同品質以上のもの)	上衣袖口
ファスナー	樹脂ファスナー MAX 5 CNOPDA 67~86cm イエロー	

(2) 構造

区 分	要 領
襟	二枚裁ちで身ごろをはさみこみ、フード脱着用のボタン(4個)を取付けること。
前 面	前身頃は釦止め前タテとファスナーで三重構造とする。 前タテは7箇所の釦止めとする。 左右腰部にポケットを設け、雨蓋は釦で開閉出来るようにする。 縫製箇所裏面はその防水要所に目貼りテープを溶着する。
裾	ゴム紐とストッパーで絞ることが出来るようにする。
袖 口	ラグラン袖とし、袖口はゴムとマジックテープで調節が出来るようにする。
ポケット	左右腰部にポケットを設け、雨蓋は釦で開閉出来るようにする。
背 面	後見頃は背抜きなしとし、背上部に指定の文字をプリントする。
紐	レーヨンコード(ヒートカット処理)7mm径 中太 黒
フード	フードは襟部に着脱可能とし、マスクはマジックテープで調整出来るようにする。 裏面(生地裏面)はトリコットとする。 襟との脱着用に釦(4個)を裾に付けること。
プリント位置	別添概要図1の背中位置に「草加八潮消防局SAITAMA」と指定文字で2段にプリントすること。
プリント色	指定色(反射シルバー)とすること。

縫製・一般 (上衣・ズボン)	<p>各部の縫い合わせは、優良で縫い代が適当であること。</p> <p>縫い目の飛び、外れがないこと。</p> <p>糸調子は縫い目が優良で縫い曲がりがないこと。</p> <p>縫い糸はポリエステル100% GK 60/5000を使用すること。</p> <p>接地接合部は、地縫「ステッチ」目張り仕上げとすること。</p>
-------------------	---

3 ズボン型式

左右一枚取りの前開きズボンとする。

(1) 材料

区 分	仕 様	用 途
表 地	<p>エントラント®・HP 1100T 規格</p> <p>Width 145×Length 100</p> <p>イエロー(F15)色 厚さ0.27mm 重量120g / m² 堅牢度4級以上</p> <p>ナイロン100%リップスルータフタ 56dt×56dt 135T×114T(同色・同品質以上のもの)</p>	ズボン
裏生地	<p>ナイロン66 22dt使用ハーフトリコット</p> <p>(同品質以上のもの)</p>	ズボン
目張りテープ	<p>エントラント®・3層用シームテープ</p> <p>E300 20mm巾</p>	各接合部分全般
ひ も	<p>レーヨンコード(ヒートカット処理)7mm径</p> <p>中太 黒</p>	
縫 糸	<p>ポリエステル100% GK 60/5000</p>	
釦	<p>樹脂製 前部1個 裾左右各1個</p>	
ゴ ム	<p>ポリエステル 30M/R 白 25mm巾</p> <p>(同品質以上のもの)</p>	ズボン腰部
ファスナー	<p>(腰部)樹脂ファスナー MAX 3 CFSDA</p> <p>止め 20cm イエロー</p> <p>(裾部)樹脂ファスナー MAX 3 CFSDA</p> <p>止め 30cm イエロー</p>	

(2) 構造

区 分	要 領
前立て	ファスナー開閉式で上部を釦1個で止めること。
腰 部	30mm巾のビスタックゴム入れ絞りとする。
裏 地	裏地(生地裏面)はトリコットとする。
裾	釦により裾口の絞りが出来るようにする。内側にファスナーを設け、開閉出来るようにする。
背 面	臀部に縫目のない裁断とする。
その他	記載されていない箇所については担当の指示によること。
目張りテープ	縫製箇所裏面はその防水要所に目貼りテープを溶着する。

4 背文字デザイン

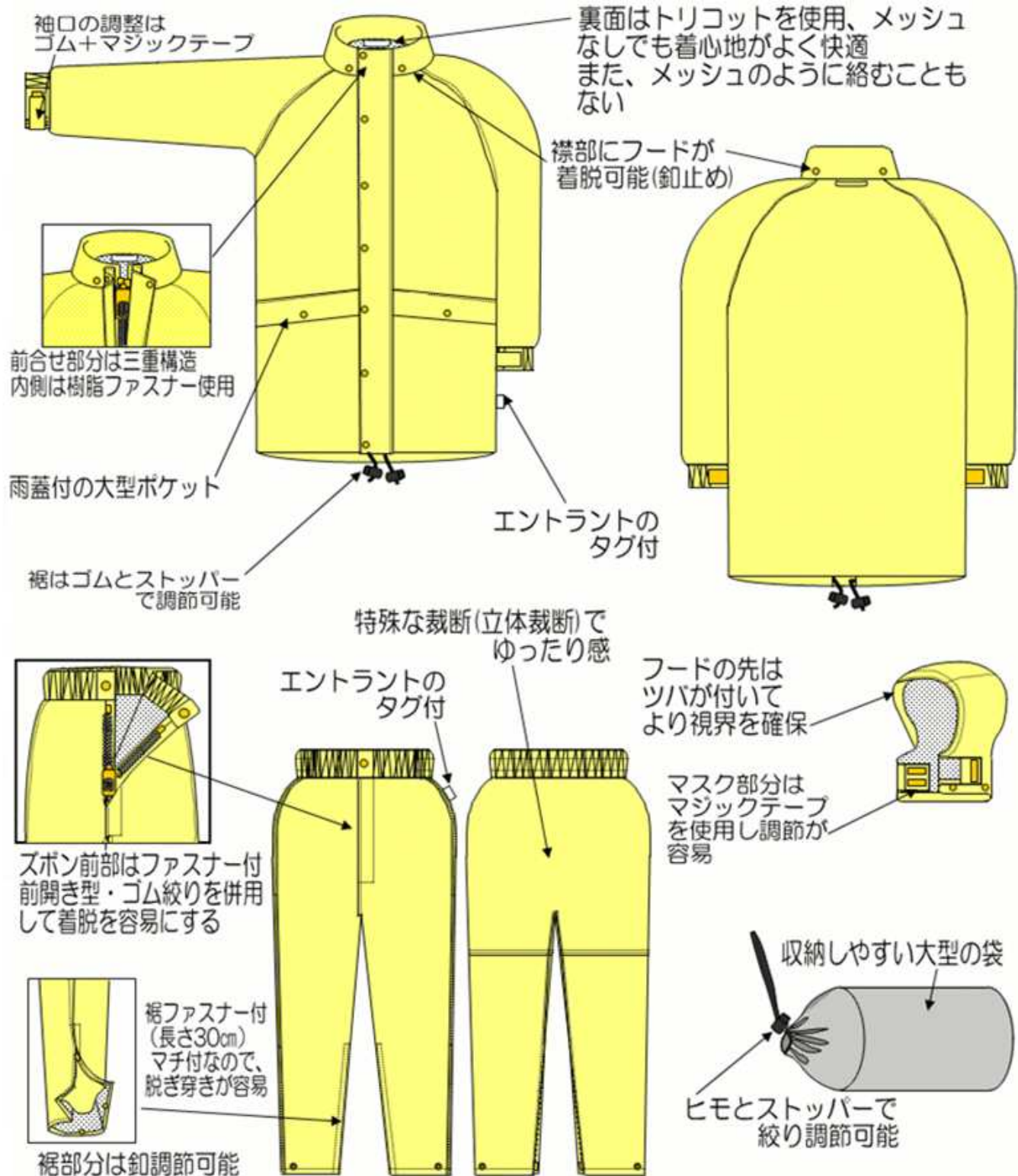
詳細(大きさ等)は担当者と協議すること。

草加八潮消防局
SAITAMA

概要図 1

(以下は本文で示した内容を参考図面で補足する。)

- ・フード着脱に襟・フード裾各々にドット釦を打つこと。
- ・フードの先に芯地を入れ、視界を確保出来るようにする。
- ・スポンの裾ファスナー部開閉部にはマチを設けること。



ティーマツ（半袖）

仕 様 書

草加八潮消防局

仕 様

1 概 要

この半袖Tシャツは、吸汗速乾素材により、縫製、加工されたもので、丸首、半袖とする。

2 色及び地質

色は「紺色」で、原料はポリエステル85%以上のものとする。

3 ネーム等

- (1) 左胸部に概要図1のSY - FIRE - BUREAUの図柄を「白色」で印刷する。
- (2) 背面上部に概要図2のSOKA YASHIO FIRE BUREAUの文字を「白色」で印刷する。
- (3) 左上腕部分に、各個人の名字を「白色」で刺繍する。
草加 太郎の場合「草加」となる。

概要図1 左胸図柄



概要図2 背中上部文字

SOKA YASHIO
FIRE BUREAU

前面



背面



作業帽（夏）

仕 様 書

草加八潮消防局

仕 様

1 概 要

この作業帽（夏）の形状は、概ね概要図のとおりとする。

2 形 式

作業帽のデザインは、アポロキャップ形式とし帽体後部は濃紺ナイロンメッシュとする。

3 材 料

(1) 生 地 4 0 0 1 C /

(2) 色 相 ブルー

4 縫 製

(1) 天 井 天井上部に通気口を設ける。

(2) 天井裏 天井の内側に、メッシュの汚損よけをつける。

(3) 調整部 アジャスター式とする。

(4) 刺 繡 概要図のとおり、前面部分に銀色の刺繡糸で『SOKA YASHIO』、赤色の刺繡糸で『FIRE BUREAU』と刺繡し、銀色の刺繡糸で、ひさし部分に月桂樹模様を刺繡する。

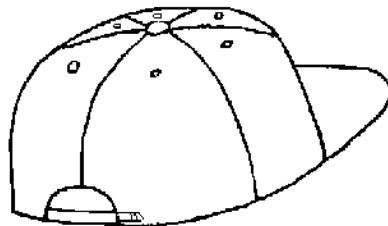
(5) 文 字 文字部の形式（フォント）は全てAlgerianとする。

概要図

前 面



裏 面



ひさし部分刺繡
(銀色)



前面部分刺繡

SOKA YASHIO
FIRE BUREAU

作業帽（冬）

仕 様 書

草加八潮消防局

仕 様

1 概 要

この作業帽（冬）の形状は、概ね概要図のとおりとする。

2 形式

作業帽のデザインは、アポロキャップ形式とする。

3 材料

(1) 生 地 3601C /

(2) 色 相 ブルー

4 縫製

(1) 天 井 天井上部に通気口を設ける。

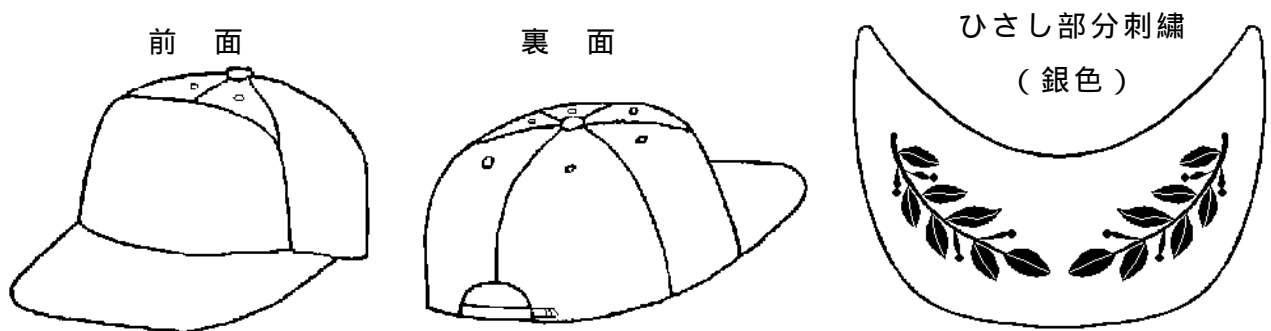
(2) 天井裏 天井の内側に、メッシュの汚損よけをつける。

(3) 調整部 アジャスター式とする。

(4) 刺 繡 概要図のとおり前面部分に銀色の刺繡糸で『SOKA YASHIO』、赤色の刺繡糸で『FIRE BUREAU』と刺繡し、銀色の刺繡糸で、ひさし部分に月桂樹模様を刺繡する。

(5) 文 字 文字部の形式（フォント）は全てAlgerianとする。

概要図



前面部分刺繡

SOKA YASHIO
FIRE BUREAU

活動服（夏）
仕 様 書

草加八潮消防局

この仕様書は、草加八潮消防局が購入する消防吏員用活動服（夏）について定めたものである。

なお、男性用及び女性用の別、また、上衣及び下衣の別については十分留意するものとし、別添概要図のとおりとする。

1. 使用材料

1) 生地一般

ア．原糸は糸ムラ、番手ムラ、織ムラなどない良質のものを使用するものとする。

イ．織り上がりは均整で、織キズ、糸節、汚れなど欠点のないものを使用するものとする。

2) 主材料

A 表生地

4 0 0 1 C/# 紺 制電・難燃トロピカル

メタアラミド 75% パラアラミド 5% ポリエステル 20%

B 表生地

4 0 0 2 C/# オレンジ 制電・難燃トロピカル

メタアラミド 67% パラアラミド 3% ポリエステル 20%

難燃レーヨン 10%

3) 補助材料

項目	規格	使用箇所
芯地	ポリエステル65% 綿35%平織り	1. 上襟 2. 襟腰 3. カフス
"	ポリエステル100% 平織り接着芯	1. 腰帯
釦	15 m/m	1. 前立て第一釦 2. 左尻ポケット
	20 m/m	1. 脇貼りポケットループ止め用
面テープ	ネイビー	1. 階級章台 2. 胸ポケット 3. 前身 4. 脇貼りポケット雨蓋部
袋地	ポリエステル65% 綿35% スレーキ色相 クリーム	1. ポケット袋地
腰裏地	ポリエステル65% 綿35% スレーキ色相 濃紺	1. 腰帯（マーベルト）
ファスナー	5CN・3CFコイルファスナー	1. 前立（上衣） 2. 袖口
"	YKK製 ミトラ3番	1. 前立て（ズボン）
縫製糸	アラミド50番 ブルー	1. 地縫い 2. ステッチ
"	アラミド40番 オレンジ	1. 地縫い
"	ポリエステル100% 90番	1. オーバーロック
"	ポリエステル100% 50番	1. 袋地

2. 形状

1) 上下共に、立体裁断による縫製とする。

- 2) 上衣はカッターシャツ型付け袖とし、前合せと袖口はファスナー開閉式とする。
両胸に、雨蓋付左右アウトポケット、左袖にペンポケット付きとする。
- 3) ズボンは長ズボン型とし、前合わせはファスナー開きとし、タックは外向きワンタックとする。
左右雨蓋なし貼りポケット、並びに、尻ポケット付きとする。

3. 縫製

一般

- ア. 各部の縫い合わせは、優良で縫い代が適当であること。
- イ. 縫い目の飛び、外れがないこと。
- ウ. 糸調子は上下ともツレ、タルミの無いようにし、縫い始め、縫い終わりに返し縫いをすること。
- エ. 縫い目数は指定通りにすること。

地縫い運針数	12針以上 / 3cm間
飾りステッチ運針数	" / "
- オ. 飾りステッチ幅は約0.5cmでポケット袋部分等は端ミシンすること。
- カ. 飾りステッチは表ミシンとすること。
- キ. 各部の合標、曲線は十分注意すること。
- ク. 接着芯はアイロンを用いて全面接着とすること。
- ケ. 台襟接着芯はすべて高熱加圧芯張りプレス機を用いて全面接着すること。
- コ. 布地の目は正確に取ること。

4. 上衣

1) 襟

- ア. 上襟は縦地に使い、剣の長さは約8cmとし、背中心で約4.5cm(標準)とする。
表側は返りを良くする為に吹きもたせを施し、飾りステッチは約0.5cm台襟上部は端ミシンとする。
- イ. 襟芯は補強芯を貼り剣先にキーパーを縫い付けたものを地縫い返しをし飾りステッチをする。
- ウ. 台襟は背中心で幅約3.5cmとし、接着芯を貼り、上襟を挟み、縫い返しをし、身頃に縫い付け、下部は2条縫いとする。下部の1条は表裏に端ミシン縫いとし、中央に織マークとサイズマークを挟み縫いする。
- エ. 上襟表衿一部は表生地(B)のオレンジとする。

2) 前身頃

- ア. 前合せの開閉はファスナー式とする。
- イ. 身頃と見返しを地縫い返しをして1条の幅0.5cmの飾りステッチをする。上前裏は前端より約4cm奥に2条ミシンで縫い付けファスナーテープを見返し側に挟

み縫いする。

- ウ．下前は身頃と見返しにファスナーを挟み地縫い返しをして一条の幅約 0.5 cm の飾りステッチとする。
- エ．上前に A 面、下前に B 面（幅約 20 m/m、長さ 30 m/m）の面テープを台襟下部より 3 箇所縫い付ける。（標準）

3) 胸ポケット

- ア．左右前身頃に挿みヒダ付きアウトポケットを 2 個付ける。
- イ．ポケットは端ミシンで縫いつける。
- ウ．ポケット上部と両胸の裁ち目はオーバーロック掛けとする。
- エ．ポケット上部の二つ折りは内側に約 2 cm とし、約 1.5 cm で飾りステッチとする。
- オ．ポケットの縫い始めと縫い終わりは返し針をする。
- カ．ポケット中央に面テープ B 面（幅約 20 m/m、長さ 30 m/m）を付ける。
- キ．雨蓋は別図の型とし裏面に面テープ A を付け、地縫い返しをし幅約 0.5 cm の飾りステッチとする。
- ク．左上前雨蓋中央側にペン刺し穴をあける。
- ケ．ポケット挿みヒダ及び雨蓋裏は表生地（B）のオレンジとする。

4) 後身頃、背ヨーク

- ア．ヨークは一枚物 V 字型でヨーク下部後身頃の上裁ち目にオーバーロックを掛け地縫い片倒しをして幅約 0.5 cm の飾りステッチをする。
- イ．ヨーク下端は上袖縫いの位置に合わせる。
- ウ．ヨークは表生地（B）のオレンジとする。
- エ．背ヨーク部の上段中央に『草加八潮消防局』、下段に『SAITAMA』の文字を紺色（指定色）で刺繍する。
字体・大きさは消防局の指示通りとする。
- オ．脇身頃は 2 枚ハギで中胴の位置で地縫い片倒しをして、幅 0.5 cm の飾りステッチとする。

5) 袖及びカフス

- ア．袖は 4 枚ハギとし、地縫い片倒し幅約 0.5 cm の飾りステッチとする。
- イ．上袖縫い目先端に袖口から約 17 cm まで 16 cm のファスナーを表から 1 条ミシン縫いする。
- ウ．開き止まり部分よりカフス付け根まで水かきを縫い付ける。
- エ．カフスは接着芯を貼り地縫い返しをし、幅約 0.5 cm の飾りステッチをする。
- オ．袖口はひだをとらずカフスに挿み縫いをし、幅約 0.5 cm の飾りステッチをする。
- カ．着用左側の袖付け根より約 8 cm 下りで上袖前はぎ側に幅約 5 cm、高さ 15 cm の 2 本入りペン刺し用アウトポケットを縫い付ける。
- キ．ペン刺しアウトポケットは端ミシンで縫いつけ、上部裁ち目はオーバーロック掛けとする。

6) 袖付け

インターロックミシン縫いとし身頃側に倒し約0.5cmの飾りステッチをする。

7) 脇縫い及び袖底縫い

前身頃、後身頃、脇身頃、袖底をずれなく合せインターロックミシン縫いとする。
脇身頃袖下下部にベンチレーション機能を設ける。

8) 裾縫い

前身頃、後身頃、脇身頃連続で幅約2cmの三つ折りアロハタイプとする。

9) 片布

左前身頃胸ポケット裏側に氏名片布を、右前身頃胸ポケット裏側に品質クロスを縫い付ける。

10) 名札

活動服の左胸に名札(ネームワッペン)を取り付けるための台座マジック(ブルー)を縫い付ける。

なお、名札の仕様については別添のとおりとする。

5.ズボン

1) 前身頃

ア. 外向き深さ前側約2cm、脇側約1.5cmのタックを左右各1本とる。

イ. 前立、天狗縫い付け部、裾はオーバーロック掛けとする。

2) 後身頃

ア. 腰ダーツを左右各二本とり片倒しとする。

イ. 尻と裾はオーバーロック掛けとする。

3) 前立・天狗

ア. 前立裏はオーバーロックを掛け帯付けより下にファスナーを縫い付け地縫い返しをし幅約3.5cmの飾りステッチとする。

イ. 天狗裏は袋地スレーキを使い天狗表と地縫い返しをし前身頃とファスナーを挟み縫いの上端ミシン飾りとする。

ウ. ファスナー下部の止まりにかんぬき止めをする。

エ. シックは天狗裏スレーキの続きに、股縫い合わせ部の4箇所を止め、股部の補強をする。

オ. 天狗上部に天狗の鼻を挟み縫いし、上部をかんぬき止めし、先端に鳩目穴かがりをする。

4) 脇貼りポケット

ア. 脇縫い中央で帯下部より20cm下りに張りポケットを縫い付ける。

イ. 雨ブタなしの貼り付けアウトポケットはファスナー止めとし、縦約20cm、横約17cmで風きん幅約4cmの三方風きんとする。

ウ. 風きんは底と前・後方に作り、端ミシン飾りとし前方と底の前方より約3cmまで

は直接身頃に縫い付ける。

- エ．ポケット布は四方をオーバーロックを掛け、ポケット口は約 3 cm で二つ折りをし、幅約 2 . 5 cm の飾りステッチをする。
- オ．ポケット上部は 2 箇所かんぬき止めをする。
- カ．後方風きんはたたんでポケット口より約 3 cm まで直接身頃に縫い付ける。

5) 尻ポケット

- ア．ポケット口幅約 13 . 5 cm、深さ約 17 cm を左右に付ける。
- イ．ポケット口は芯入り片玉縁とする。
- ウ．左ポケットのみ釦止めとする。
- エ．ポケット両端はかんぬき止めとする。
- オ．ポケット口向当ては 4 cm 以上としオーバーロックを掛け袋地に縫い付ける。
- カ．袋地は左右を地縫いし回りを幅約 0 . 5 cm の飾りステッチとする。
- キ．袋地上部は帯飾りステッチに掛るようにする。

6) 帯付け

- ア．仕上がり幅 3 . 5 cm で 3 . 3 cm の接着芯を全面に接着する。
- イ．腰帯は尻あわせ部分で割り縫いとする。
- ウ．ラッセル入りマーベルトを使い帯の下部の落としミシンでマーベルトを縫い付ける。
- エ．マーベルトの尻あわせは割り縫いとする。
- オ．左右の帯の先端に前かんを付ける。

7) 脇、及び内股立体構造

内股部には菱形のハギを入れ活動時において負荷がかかりにくい構造とし、脇縫いはインターロックミシン縫いの上、片倒し幅約 0 . 5 cm の飾りステッチをする。

8) 尻縫い

- ア．縫い代は上部で約 3 cm、下部で約 1 cm とする。
- イ．裁ち目はオーバーロック掛けし、2 本針、4 本糸使い環ミシン掛け、割り縫いとする。

9) ベルト通し

- ア．幅約 2 . 4 cm、高さ約 6 cm (有効長さ約 5 . 5 cm) を後中央 2 箇所左右 3 箇所の合計 8 箇所付けとする。
- イ．上部から約 0 . 5 cm 下りで上下共袋付けとする。下部は折り曲げてステッチを掛ける。

10) 片布サイズマーク及び品質クロス

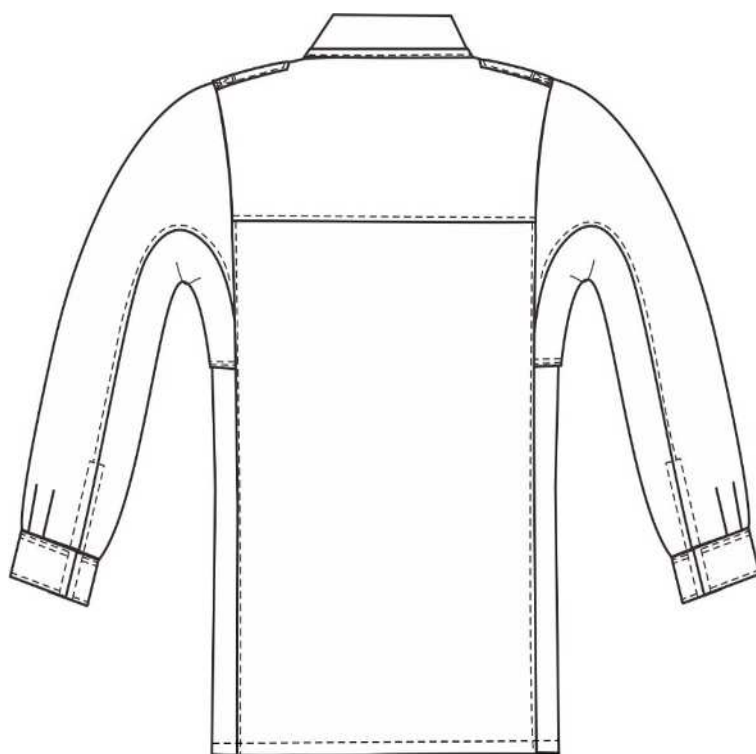
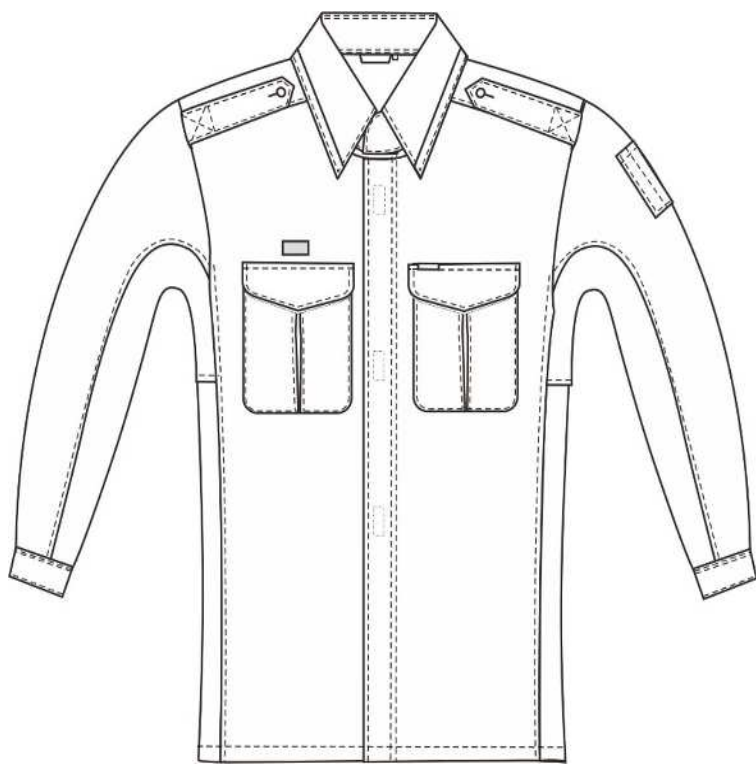
左ピスポケットに片布、右ピスポケットに織マーク・品質表示を付ける。

6 . その他

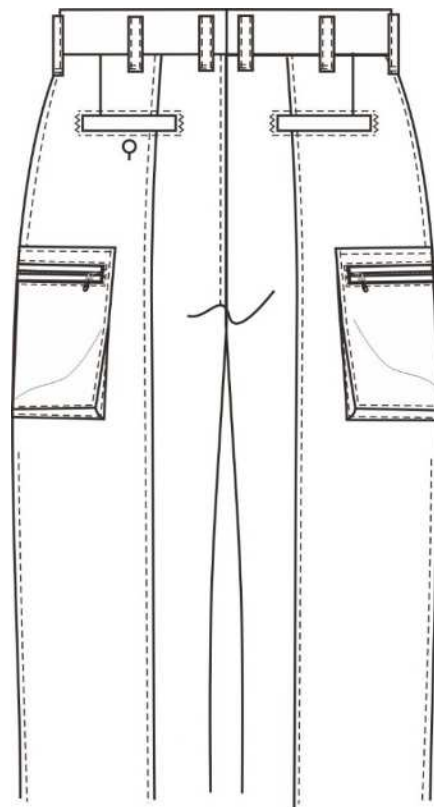
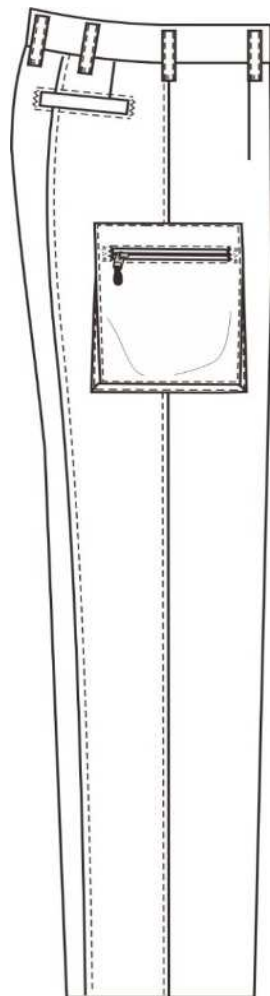
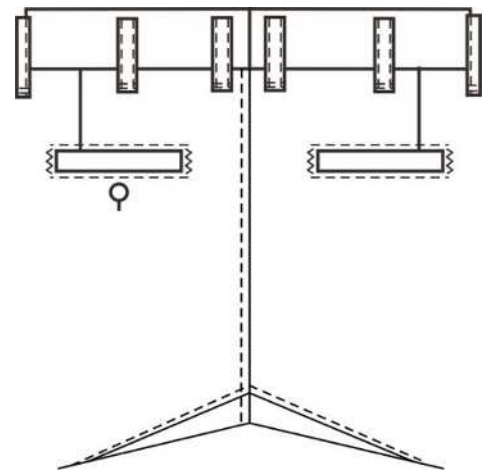
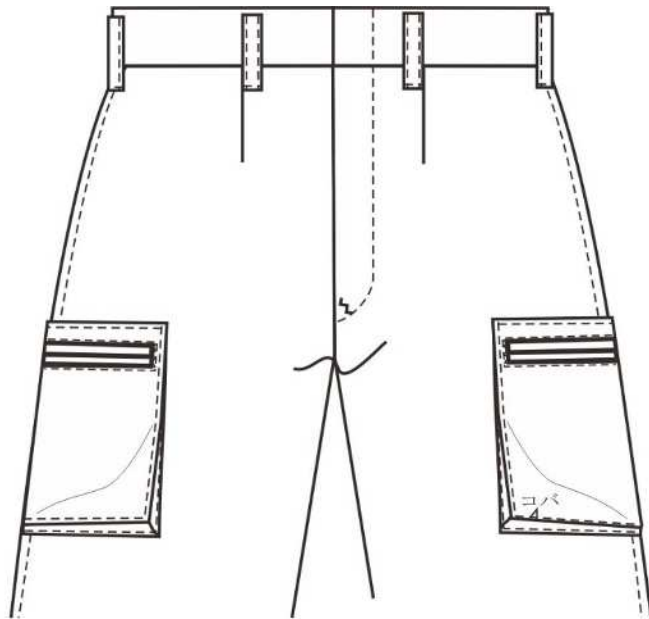
- 1) 女性用の打ち合わせは右上前とし、他は男性と同様とすること。
- 2) 記載されていない箇所については、担当の指示によること。

概要図

上衣



下衣



活動服（冬）
仕 様 書

草加八潮消防局

この仕様書は、草加八潮消防局が購入する消防吏員用活動服（冬）について定めたものである。

なお、男性用及び女性用の別、また、上衣及び下衣の別については十分留意するものとし、概要図のとおりとする。

1. 使用材料

1) 生地一般

ア. 原糸は糸ムラ、番手ムラ、織ムラなどない良質のものを使用するものとする。

イ. 織り上がりは均整で、織キズ、糸節、汚れなど欠点のないものを使用するものとする。

2) 主材料

A 表生地

3 6 0 1 C/# 紺 制電・難燃サージ

メタアラミド 75% パラアラミド 5% ポリエステル 20%

B 表生地

3 6 0 2 C/# オレンジ 制電・難燃サージ

メタアラミド 67% パラアラミド 3% ポリエステル 20%

難燃レーヨン 10%

3) 補助材料

項目	規 格	使 用 箇 所
芯 地	ポリエステル65% 綿35%平織り	1. 上襟 2. 襟腰 3. カフス
"	ポリエステル100% 平織り接着芯	1. 腰帯
釦	15 m/m	1. 前立て第一釦 2. 左尻ポケット
	20 m/m	1. 脇貼りポケットループ止め用
面テープ	ネイビー	1. 階級章台 2. 胸ポケット 3. 前身 4. 脇貼りポケット雨蓋部
袋 地	ポリエステル65% 綿35% スレーキ色相 クリーム	1. ポケット袋地
腰裏地	ポリエステル65% 綿35% スレーキ色相 濃紺	1. 腰帯（マーベルト）
ファスナー	5CN・3CFコイルファスナー	1. 前立（上衣） 2. 袖口
"	YKK製 ミトラ3番	1. 前立て（ズボン）
縫製糸	アラミド50番 ブルー	1. 地縫い 2. ステッチ
"	アラミド40番 オレンジ	1. 地縫い
"	ポリエステル100% 90番	1. オーバーロック
"	ポリエステル100% 50番	1. 袋地

2. 形状

1) 上下共に、立体裁断による縫製とする。

- 2) 上衣はカッターシャツ型付け袖とし、前合せと袖口はファスナー開閉式とする。
両胸に、雨蓋付左右アウトポケット、左袖にペンポケット付きとする。
- 3) ズボンは長ズボン型とし、前合わせはファスナー開きとし、タックは外向きワンタックとする。
左右雨蓋なし貼りポケット、並びに、尻ポケット付きとする。

3. 縫製

一般

- ア. 各部の縫い合わせは、優良で縫い代が適当であること。
- イ. 縫い目の飛び、外れがないこと。
- ウ. 糸調子は上下ともツレ、タルミの無いようにし、縫い始め、縫い終わりに返し縫いをすること。
- エ. 縫い目数は指定通りにすること。

地縫い運針数	12針以上 / 3cm間
飾りステッチ運針数	" / "
- オ. 飾りステッチ幅は約0.5cmでポケット袋部分等は端ミシンすること。
- カ. 飾りステッチは表ミシンとすること。
- キ. 各部の合標、曲線は十分注意すること。
- ク. 接着芯はアイロンを用いて全面接着とすること。
- ケ. 台襟接着芯はすべて高熱加圧芯張りプレス機を用いて全面接着すること。
- コ. 布地の目は正確に取ること。

4. 上衣

1) 襟

- ア. 上襟は縦地に使い、剣の長さは約8cmとし、背中心で約4.5cm(標準)とする。
表側は返りを良くする為に吹きもたせを施し、飾りステッチは約0.5cm台襟上部は端ミシンとする。
- イ. 襟芯は補強芯を貼り剣先にキーパーを縫い付けたものを地縫い返しをし飾りステッチをする。
- ウ. 台襟は背中心で幅約3.5cmとし、接着芯を貼り、上襟を挟み、縫い返しをし、身頃に縫い付け、下部は2条縫いとする。下部の1条は表裏に端ミシン縫いとし、中央に織マークとサイズマークを挟み縫いする。
- エ. 上襟表衿一部は表生地(B)のオレンジとする。

2) 前身頃

- ア. 前合せの開閉はファスナー式とする。
- イ. 身頃と見返しを地縫い返しをして1条の幅0.5cmの飾りステッチをする。上前裏は前端より約4cm奥に2条ミシンで縫い付けファスナーテープを見返し側に挟

み縫いする。

- ウ．下前は身頃と見返しにファスナーを挟み地縫い返しをして一条の幅約 0.5 cm の飾りステッチとする。
- エ．上前に A 面、下前に B 面（幅約 20 m/m、長さ 30 m/m）の面テープを台襟下部より 3 箇所縫い付ける。（標準）

3) 胸ポケット

- ア．左右前身頃に挿みヒダ付きアウトポケットを 2 個付ける。
- イ．ポケットは端ミシンで縫いつける。
- ウ．ポケット上部と両胸の裁ち目はオーバーロック掛けとする。
- エ．ポケット上部の二つ折りは内側に約 2 cm とし、約 1.5 cm で飾りステッチとする。
- オ．ポケットの縫い始めと縫い終わりは返し針をする。
- カ．ポケット中央に面テープ B 面（幅約 20 m/m、長さ 30 m/m）を付ける。
- キ．雨蓋は別図の型とし裏面に面テープ A を付け、地縫い返しをし幅約 0.5 cm の飾りステッチとする。
- ク．左上前雨蓋中央側にペン刺し穴をあける。
- ケ．ポケット挿みヒダ及び雨蓋裏は表生地（B）のオレンジとする。

4) 後身頃、背ヨーク

- ア．ヨークは一枚物 V 字型でヨーク下部後身頃の上裁ち目にオーバーロックを掛け地縫い片倒しをして幅約 0.5 cm の飾りステッチをする。
- イ．ヨーク下端は上袖縫いの位置に合わせる。
- ウ．ヨークは表生地（B）のオレンジとする。
- エ．背ヨーク部の上段中央に『草加八潮消防局』、下段に『SAITAMA』の文字を紺色（指定色）で刺繍する。
字体・大きさは消防局の指示通りとする。
- オ．脇身頃は 2 枚ハギで中胴の位置で地縫い片倒しをして、幅 0.5 cm の飾りステッチとする。

5) 袖及びカフス

- ア．袖は 4 枚ハギとし、地縫い片倒し幅約 0.5 cm の飾りステッチとする。
- イ．上袖縫い目先端に袖口から約 17 cm まで 16 cm のファスナーを表から 1 条ミシン縫いする。
- ウ．開き止まり部分よりカフス付け根まで水かきを縫い付ける。
- エ．カフスは接着芯を貼り地縫い返しをし、幅約 0.5 cm の飾りステッチをする。
- オ．袖口はひだをとらずカフスに挿み縫いをし、幅約 0.5 cm の飾りステッチをする。
- カ．着用左側の袖付け根より約 8 cm 下りで上袖前はぎ側に幅約 5 cm、高さ 15 cm の 2 本入りペン刺し用アウトポケットを縫い付ける。
- キ．ペン刺しアウトポケットは端ミシンで縫いつけ、上部裁ち目はオーバーロック掛けとする。

6) 袖付け

インターロックミシン縫いとし身頃側に倒し約0.5cmの飾りステッチをする。

7) 脇縫い及び袖底縫い

前身頃、後身頃、脇身頃、袖底をずれなく合せインターロックミシン縫いとする。
脇身頃袖下下部にベンチレーション機能を設ける。

8) 裾縫い

前身頃、後身頃、脇身頃連続で幅約2cmの三つ折りアロハタイプとする。

9) 片布

左前身頃胸ポケット裏側に氏名片布を、右前身頃胸ポケット裏側に品質クロスを縫い付ける。

10) 名札

活動服の左胸に名札(ネームワッペン)を取り付けるための台座マジック(ブルー)を縫い付ける。

なお、名札の仕様については別添のとおりとする。

5.ズボン

1) 前身頃

ア. 外向き深さ前側約2cm、脇側約1.5cmのタックを左右各1本とる。

イ. 前立、天狗縫い付け部、裾はオーバーロック掛けとする。

2) 後身頃

ア. 腰ダーツを左右各二本とり片倒しとする。

イ. 尻と裾はオーバーロック掛けとする。

3) 前立・天狗

ア. 前立裏はオーバーロックを掛け帯付けより下にファスナーを縫い付け地縫い返しをし幅約3.5cmの飾りステッチとする。

イ. 天狗裏は袋地スレーキを使い天狗表と地縫い返しをし前身頃とファスナーを挟み縫いの上端ミシン飾りとする。

ウ. ファスナー下部の止まりにかんぬき止めをする。

エ. シックは天狗裏スレーキの続きに、股縫い合わせ部の四箇所を止め、股部の補強をする。

オ. 天狗上部に天狗の鼻を挟み縫いし、上部をかんぬき止めし、先端に鳩目穴かがりをする。

4) 脇貼りポケット

ア. 脇縫い中央で帯下部より20cm下りに張りポケットを縫い付ける。

イ. 雨ブタなしの貼り付けアウトポケットはファスナー止めとし、縦約20cm、横約17cmで風きん幅約4cmの二方風きんとする。

ウ. 風きんは底と後方に作り、端ミシン飾りとし前方と底の前方より約3cmまでは直

接身頃に縫い付ける。

エ．ポケット布は四方をオーバーロックを掛け、ポケット口は約3 cmで二つ折りをし、幅約2.5 cmの飾りステッチをする。

オ．ポケット上部は2箇所かんぬき止めをする。

カ．後方風きんはたたんでポケット口より約3 cmまで直接身頃に縫い付ける。

5) 尻ポケット

ア．ポケット口幅約13.5 cm、深さ約17 cmを左右に付ける。

イ．ポケット口は芯入り片玉縁とする。

ウ．左ポケットのみ釦止めとする。

エ．ポケット両端はかんぬき止めとする。

オ．ポケット口向当ては4 cm以上としオーバーロックを掛け袋地に縫い付ける。

カ．袋地は左右を地縫いし回りを幅約0.5 cmの飾りステッチとする。

キ．袋地上部は帯飾りステッチに掛るようにする。

6) 帯付け

ア．仕上がり幅3.5 cmで3.3 cmの接着芯を全面に接着する。

イ．腰帯は尻あわせ部分で割り縫いとする。

ウ．ラッセル入りマーベルトを使い帯の下部の落としミシンでマーベルトを縫い付ける。

エ．マーベルトの尻あわせは割り縫いとする。

オ．左右の帯の先端に前かんを付ける。

7) 脇、及び内股立体構造

内股部には菱形のハギを入れ活動時において負荷がかかりにくい構造とし、脇縫いはインターロックミシン縫いの上、片倒し幅約0.5 cmの飾りステッチをする。

8) 尻縫い

ア．縫い代は上部で約3 cm、下部で約1 cmとする。

イ．裁ち目はオーバーロック掛けし、2本針、4本糸使い環ミシン掛け、割り縫いとする。

9) ベルト通し

ア．幅約2.4 cm、高さ約6 cm(有効長さ約5.5 cm)を後中央2箇所、左右3箇所の合計8箇所付けとする。

イ．上部から約0.5 cm下りで上下共袋付けとする。下部は折り曲げてステッチを掛ける。

10) 片布サイズマーク及び品質クロス

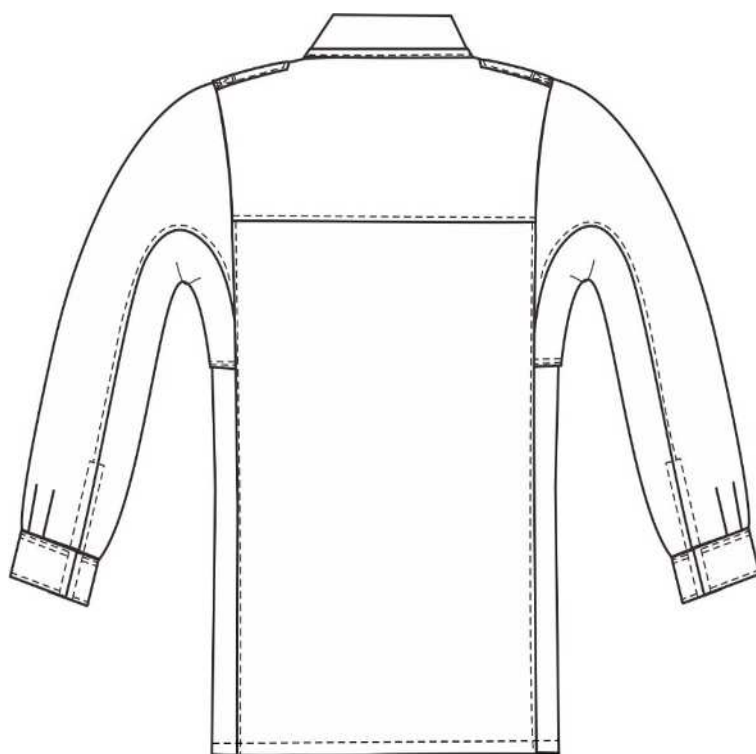
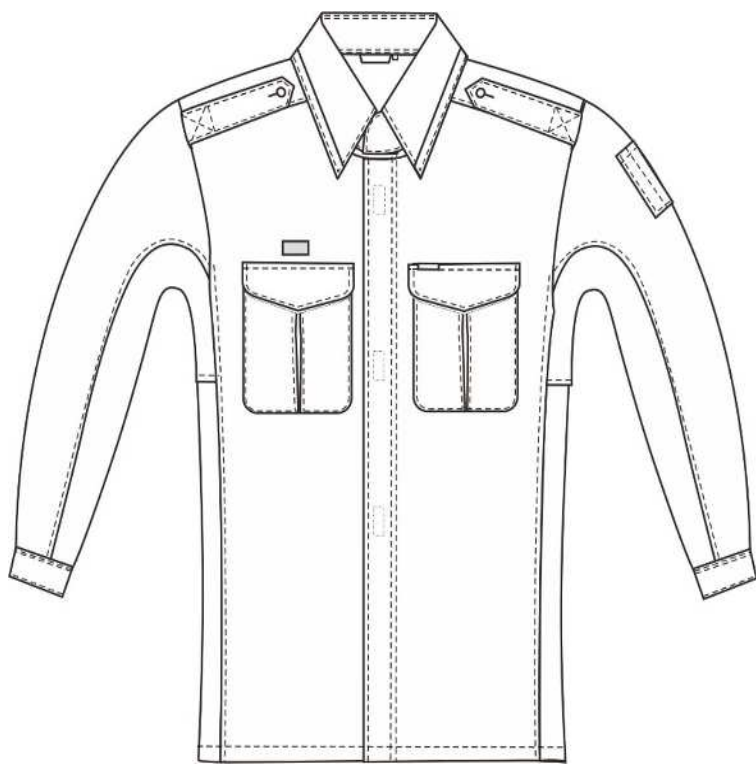
左ピスポケットに片布、右ピスポケットに織マーク・品質表示を付ける。

6 . その他

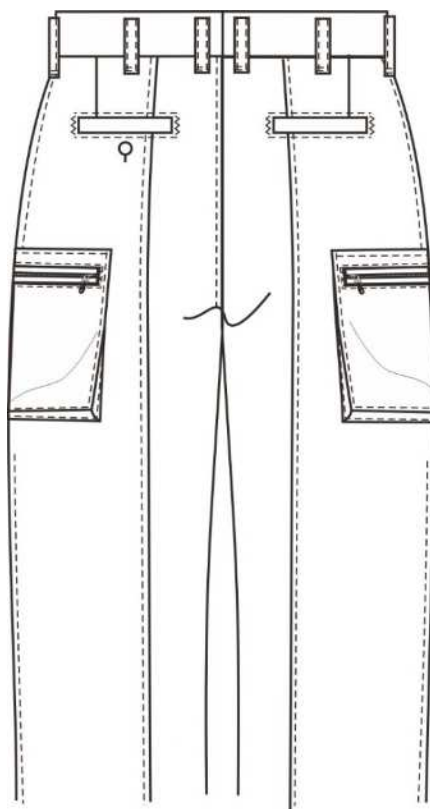
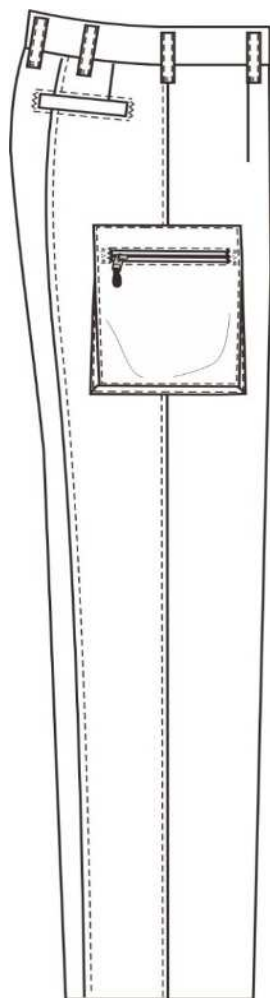
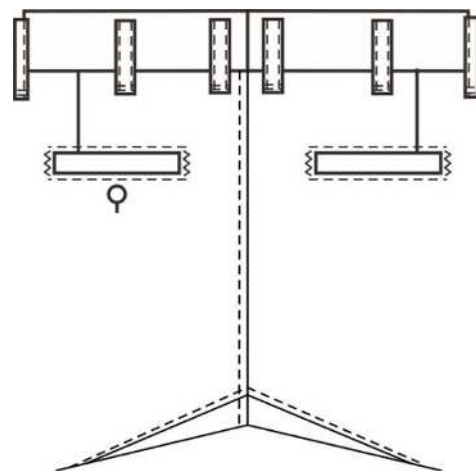
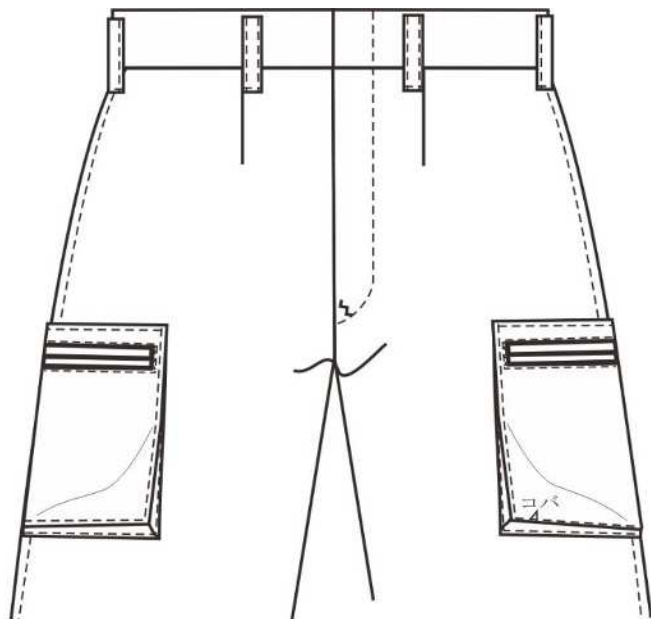
- 1) 女性用の打ち合わせは右上前とし、他は男性と同様とすること。
- 2) 記載されていない箇所については、担当の指示によること。

概要図

上衣



下衣



別記

個人情報取扱特記事項

(基本事項)

第1条 この契約により、草加八潮消防組合（以下「甲」という。）から事務の委託を受けた者（以下「乙」という。）は、この契約による事務を処理するに当たり、個人情報を取り扱う際には、個人情報保護の重要性を認識し、個人の権利利益を侵害することのないようにしなければならない。

(秘密保持)

第2条 乙は、この契約による事務に関して知り得た個人情報をみだりに他人に知らせ、又は不当な目的に使用してはならない。

2 乙は、この契約による事務に従事させる者に対し、在職中及び退職後においても、この契約による事務に関して知り得た個人情報をみだりに他人に知らせ、又は不当な目的に使用してはならないこと、その他個人情報の保護に関し必要な事項を周知しなければならない。

3 前2項の規定は、この契約が終了し、又は解除された後においても同様とする。

(作業場所の特定)

第3条 乙は甲の指定した場所又は乙の求めにより甲が承認した場所以外で、個人情報を取り扱ってはならない。なお、甲の承認は書面でなければならない。

(厳重な保管及び搬送)

第4条 乙は、この契約による事務に係る個人情報の漏えい、改ざん、き損、滅失その他の事故を防止するため、次に掲げる事項を遵守し、個人情報の厳重な保管及び搬送に努めなければならない。

(1) 乙は甲の許可なく、甲の指定した場所又は甲が承認した場所から個人情報又は個人情報を含む契約目的物等（以下「個人情報等」という。）を持ち出してはならない。

(2) 乙は、個人情報等を甲から受けるとき又は甲に渡すときは、個人情報の内容、数量、受渡し日、受渡し確認者、その他必要な事項を記載した書面を甲と取り交わさなければならない。

(再委託の禁止)

第5条 乙は、甲の承諾があるときを除き、この契約による事務に係る個人情報の処理を自ら行うものとし、第三者にその処理を委託してはならない。

(委託目的以外の使用等の禁止)

第6条 乙は、甲の指示又は承諾があるときを除き、この契約による事務に係る個人情報を当該事務の処理以外の目的に使用し、又は第三者に提供してはならない。

(複写及び複製の禁止)

第7条 乙は、甲の指示又は承諾があるときを除き、この契約による事務に係る個人情報を複写し、又は複製してはならない。

(事故発生時の報告義務)

第8条 乙は、個人情報の個人情報取扱特記事項に違反する事態が生じ、又は生じるおそれがあることを知ったときは、速やかに甲に報告し、その指示に従わなければならない。この契約が終了し、又は解除された後においても同様とする。

(個人情報の返還又は処分)

第9条 乙は、この契約が終了し、又は解除されたときは、この契約による事務に係る個人情報を速やかに甲に返却し、又は漏えいを来さない方法で確実に処分しなければならない。

(措置事項に違反した場合の契約解除及び損害賠償)

第10条 甲は、乙がこの個人情報取扱特記事項に違反していると認めたときは、契約の解除及び損害賠償の請求をすることができる。

(その他)

第11条 乙は、第2条から前条までに掲げるもののほか、個人情報の適正な管理のために必要な措置を講じなければならない。